

平成28年度

事業報告書

事業報告の附属明細書

自：平成28年4月1日

至：平成29年3月31日



社会福祉法人

伊勢崎市社会福祉協議会

<目次>

□総務企画課	1
1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営	
2. 苦情解決体制の整備	
3. 自主財源の確保	
4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施	
5. 総合企画関連事業の実施	
6. 社会福社会館の管理運営	
7. その他の事業・業務	
□地域福祉推進課	7
1. 地域福祉推進事業	
2. 地域包括ケアシステムの推進	
3. 関係団体等への支援	
4. 各支所との連絡調整	
5. 共同募金会への協力	
6. 戦没者等追悼式の執行	
7. 相談事業の開催	
8. 権利擁護体制の充実	
9. 生活困窮者への支援	
10. 社会参加・生活支援充実	
11. ボランティア・市民活動センター	
12. 障害者（児）相談・生活支援センター	
13. その他の地域福祉推進	
□赤堀支所	22
1. 赤堀地区地域福祉推進協議会	
2. 赤堀地区社会福祉協議会	
3. 地域福祉活動の推進	
□あずま支所	25
1. あずま地区地域福祉推進協議会	
2. あずま地区社会福祉協議会	
3. 地域福祉活動の推進	

□境支所 29

- 1. 境地区地域福祉推進協議会
- 2. 境地区社会福祉協議会
- 3. 地域福祉活動の推進

□在宅福祉課 34

- 1. 介護保険事業所の経営
- 2. 障害者福祉サービス事業所の経営
- 3. 地域包括ケアシステムの推進
- 4. その他

□施設管理課 47

- 1. 指定管理施設の管理運営
- 2. いせさき絆コンサートの開催

□総務企画課

1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営

○理事会 場所：社会福社会館4階第2会議室

・第1回 平成28年5月27日（金）

- (1) 議案第1号 平成28年度 社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (2) 議案第2号 平成27年度 事業報告について
- (3) 議案第3号 平成27年度 社会福祉事業区分資金収支決算について
- (4) 議案第4号 平成27年度 公益事業区分資金収支決算について
- (5) 監査報告
- (6) 議案第5号 評議員の選任について

・第2回 平成28年9月27日（火）

- (1) 副会長の互選について
- (2) 会長職務代理者の指名について
- (3) 議案第6号 平成28年度社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (4) 議案第7号 平成28年度公益事業区分資金収支予算の補正について

・第3回 平成28年12月22日（木）

- (1) 議案第8号 平成28年度社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (2) 議案第9号 平成28年度公益事業区分資金収支予算の補正について
- (3) 議案第10号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款の変更について
- (4) 議案第11号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
- (5) 議案第12号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- (6) 議案第13号 伊勢崎市社会福祉協議会境事業所における居宅介護支援事業の廃止について
- (7) 議案第14号 評議員の選任について

・第4回 平成29年3月2日（木）※場所：社会福社会館4階第1会議室

- (1) 報告 地域福祉推進協議会及び地区地域福祉推進協議会の廃止について
- (2) 議案第15号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会理事・監事及び評議員選任規程の一部改正について
- (3) 議案第16号 評議員候補者の推薦について

・第5回 平成29年3月27日（月）

- (1) 報告 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款の認可に伴う変更点について
- (2) 報告 評議員の選任について
- (3) 議案第17号 本会の従たる事務所の登記について
- (4) 議案第18号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款施行細則の制定について
- (5) 議案第19号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- (6) 議案第20号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会役員等の報酬に関する規程の制定について
- (7) 議案第21号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員の報酬に関する規程の制定について
- (8) 議案第22号 平成28年度社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (9) 議案第23号 平成28年度公益事業区分資金収支予算の補正について
- (10) 議案第24号 平成29年度事業計画（案）について
- (11) 議案第25号 平成29年度資金収支予算（案）について

○評議員会 場所：社会福祉会館4階第1会議室

・第1回 平成28年5月27日（金）

- (1) 議案第1号 平成28年度 社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (2) 議案第2号 平成27年度 事業報告について
- (3) 議案第3号 平成27年度 社会福祉事業区分資金収支決算について
- (4) 議案第4号 平成27年度 公益事業区分資金収支決算について
- (5) 監査報告
- (6) 議案第5号 理事の選任について
- (7) 議案第6号 監事の選任について

・第2回 平成28年9月27日（火）

- (1) 議案第7号 平成28年度社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (2) 議案第8号 平成28年度公益事業区分資金収支予算の補正について

・第3回 平成28年12月22日（木）

- (1) 議案第9号 平成28年度社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (2) 議案第10号 平成28年度公益事業区分資金収支予算の補正について
- (3) 議案第11号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款の変更について
- (4) 議案第12号 伊勢崎市社会福祉協議会境事業所における居宅介護支援事業の廃止について
- (5) 議案第13号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について

- (6) 議案第 14 号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

・第 4 回 平成 29 年 3 月 27 日 (月)

- (1) 報告 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款の認可に伴う変更点について
- (2) 報告 地域福祉推進協議会及び地区地域福祉推進協議会の廃止について
- (3) 議案第 15 号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会理事・監事及び評議員選任規程の一部改正について
- (4) 議案第 16 号 本会の従たる事務所の登記について
- (5) 議案第 17 号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会定款施行細則の制定について
- (6) 議案第 18 号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会役員等の報酬に関する規程の制定について
- (7) 議案第 19 号 社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会評議員の報酬に関する規程の制定について
- (8) 議案第 20 号 平成 28 年度社会福祉事業区分資金収支予算の補正について
- (9) 議案第 21 号 平成 28 年度公益事業区分資金収支予算の補正について
- (10) 議案第 22 号 平成 29 年度事業計画 (案) について
- (11) 議案第 23 号 平成 29 年度資金収支予算 (案) について

2. 苦情解決体制の整備

福祉サービスに係る利用者からの苦情を解決する体制を整備し、利用者の権利を擁護すること、また、利用者が本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援することを目的としています。

情報公開第三者委員会については、情報公開規程における開示申出者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために設けられています。

苦情解決に関する第三者委員及び情報公開第三者委員は各 3 人です。

(1) 苦情解決に関する第三者委員・情報公開に関する第三者委員 第 1 回合同会議

日 時：平成 28 年 11 月 24 日 (木)

場 所：社会福祉会館 4 階第 2 会議室

○苦情解決に関する第三者委員会

- ・平成 27 年 11 月～平成 28 年 10 月現在までの苦情等解決状況報告
- ・意見交換ほか

○情報公開に関する第三者委員会

- ・状況報告
- ・その他

3. 自主財源の確保

本会の運営は、会員である住民、団体等の会費でまかなわれており、様々な福祉活動を展開するための財源の確保として、会員より一般会費、賛助会費、特別会費を納めていただいています。

(1) 一般会費

本会の目的に賛同し、市内に住所を有する世帯より会費を納めていただきました。

<年額1世帯あたり 400 円>

	世帯数 (世帯)	納入額 (円)
合計	72,094	28,837,640

(2) 賛助会費

本会の目的に賛同する福祉団体等の賛助会員より会費を納めていただきました。

<年額1口 1,000 円>

納入件数	納入口数	納入額 (円)
102	230	230,000

(3) 特別会費

本会の目的に賛同する会社、団体等の特別会員より会費を納めていただきました。

<年額1口 5,000 円>

納入件数	納入口数	納入額 (円)
34	44	220,000

4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施

(1) 広報紙「社協いせさき かがやき」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報紙を発行しました。A4カラー8ページの広報紙を、7月・11月・3月の年3回にわたって、市内全戸及び社協会員並びに関係機関に配布しました。

(2) ホームページの管理運営

事業計画及び報告並びに財務諸表等の公開の他、各種事業等の募集及び職員求人等について市民等に広く情報発信する為に、本会ホームページの適切な管理運営を実施しました。

5. 総合企画関連事業の実施

(1) 伊勢崎市社会福祉大会の実施

地域福祉のより一層の推進を目指すとともに、永年にわたり社会福祉事業の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。

日 時：平成28年10月13日（木） 午後1時30分～午後4時

場 所：伊勢崎市境総合文化センター 大ホール

【第一部 講演会】

<講演>

「見直そう！近所力地域力 ～これからの高齢者問題を考える～」

講師 多田 そうべい 氏（大人の寺子屋主宰・作家・歌手）

【第二部 式典】

- ・受賞者 表彰の部 184人 ・感謝の部 60人、10団体
- ・参加者計 569人

*障害者授産施設等の物品販売を実施（計5施設参加）

*赤い羽根共同募金の募金箱を設置：募金額2,709円

6. 社会福社会館の管理運営

社会福祉協議会の総務企画課、地域福祉推進課、在宅福祉課及び施設管理課が事務所を置き、地域社会福祉の増進、介護保険事業、ボランティア活動の増進、心配ごと・結婚相談事業、福祉団体の活動援助等の機能が十分に発揮されるよう運営しました。

また、会館内に伊勢崎歯科医師会、伊勢崎市薬剤師会の2団体が入居しているほか、以下の通り会議室の使用がありました。

○会議室使用状況	4階第1会議室	利用料：100,200円	利用者数：2,773人
	4階第2会議室	利用料：30,100円	利用者数：2,467人
	4階第3会議室	利用料：8,400円	利用者数：772人

7. その他の事業・業務

(1) 実習生の受け入れ

国家資格「社会福祉士」の受験資格取得のための「社会福祉援助技術現場実習」の学生を受け入れ、社会福祉協議会事業の実習を行いました。

学校名・受入人数	受入期間	日数・時間
東京福祉大学 社会福祉学部 3年 1人 心理学部 3年 1人	(前期実習) 平成28年6月6日～ 6月17日 (後期実習) 平成28年10月4日～ 平成29年1月31日	10日間・80時間 30日間・240時間

□地域福祉推進課

1. 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉推進協議会及び地区地域福祉推進協議会の連携充実

地域の実情を考慮した住民参加の福祉を推進するために設置され、地域福祉に関する課題を協議・検討するとともに、地区事業推進にあたり意見具申や情報交換を行いました。

○ 伊勢崎地区地域福祉推進協議会（委員数 21 人）

平成 28 年 5 月 20 日（金）

<平成 29 年 3 月 31 日をもって廃止>

(2) 地区社協活動の活性化及び支援

各地区社協へは、地区社協強化費等の助成金や戸外サービス事業への助成を行い、活動を支援しました。

(3) 福祉関係諸団体との連絡調整

民生委員・児童委員連絡協議会、区長会等の諸団体と協力し各種事業に取り組みました。

2. 地域包括ケアシステムの推進

(1) 地域支え合い活動の支援、見守り活動等の推進

地域包括ケアシステムを構築するため、各地区にて支え合いの体制づくりのための勉強会等へ参加し、情報交換や見守り活動等を推進しました。

(2) 各圏域での地域包括支援センター、協議体との連携

各圏域の地域包括ケアネットワーク会議へ参加し、地域包括支援センターや地域住民との情報交換等連携に努めました。

また、伊勢崎市及び圏域包括支援センターと連携し、第 2 層協議体発足に向けた取り組みを推進しました。

(3) 在宅福祉課との連携強化

在宅福祉課との連携をより一層強化し推進しました。

3. 関係団体等への支援

(1) 関係団体との連携強化

関係団体等との連携に努めました。

(2) 関係団体への育成援助及び助成

①伊勢崎市老人クラブ連合会

伊勢崎市老人クラブ連合会の事務局として、総会・役員会・各専門部会等の会議を開催するとともに、グラウンドゴルフ大会、スマイルボウリング大会、囲碁・将棋大会、ゲートボール大会、輪投げ大会、芸能大会、会員相互の友愛訪問等の事業を実施。また、各支所においても各地区老人クラブの事業等を支援しました。

- ・会 長 大貫 森次
- ・会員数 11,385人
- ・総 会 平成28年5月6日(金)
- ・役員会・専門部会等開催 24回

② 一般財団法人群馬県遺族の会伊勢崎支部

遺族の会伊勢崎支部の事務局として、総会・役員会等の会議を開催し、国・県・市戦没者追悼式に参列。靖国神社・県護国神社参拝等の事業を実施するとともに、県遺族の会主催の沖縄「群馬の塔」慰霊参拝事業に参加しました。また、各支所においても各地区の遺族会への会議・事業等を支援しました。

- ・支部長 新井 利榮
- ・会員数 996人
- ・総 会 平成28年5月17日(火)
- ・役員会等開催 6回

③ 伊勢崎市母子会

離婚や死別などで配偶者をなくした母子世帯(父子世帯)の自立支援と会員相互の親睦を深めるために設立された団体であり、ふれあい交流事業(若年・寡婦)の実施、県・市各種大会への参加等を支援しました。

- ・会 長 須永 美津江
- ・会員数 131人
- ・総 会 平成28年4月14日(木)
- ・役員会議等開催 11回

④ 伊勢崎保護区保護司会

罪を犯した人が社会復帰するための手助けをする、法務省から委嘱を受け結成された団体であり、第66回社会を明るくする運動事業の積極的推進、自主研修会の実施、県・市各種大会への参加等を支援しました。

- ・会 長 熊谷 勝弘
- ・会員数 84人
- ・総 会 平成28年5月23日(月)
- ・役員会議等開催 10回

⑤伊勢崎地区更生保護女性会

女性としての立場から更生保護活動に協力するボランティア団体であり、全国及び県更生保護女性連盟に関係する各大会・研修会への出席・事業協力等を支援しました。

- ・会 長 秋間 重乃
- ・会員数 455人
- ・総 会 平成28年5月13日(金)
- ・役員会議等開催 15回

⑥更生保護サポートセンター伊勢崎の運営協力

企画調整保護司が常駐し、対象者との面接や定期駐在にセンターを活用、保護司会役員会等の開催を支援しました。

- ・企画調整保護司 7人

⑦団体等助成金事業

伊勢崎市内に活動拠点を置く当事者団体等に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数
当事者団体、援護団体	6
地区社協	11

(3) ふくしボランティア団体等への助成

伊勢崎市内に活動拠点を置くふくしボランティア団体等に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数
ふくしボランティア団体 (ボランティア・市民活動センターへ登録3年以上)	21
NPO団体	1

(4) 地域活動支援事業

新設ボランティア団体等への助成

平成28年度新たに地域福祉活動を開始した団体(事業)に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数
新設ボランティア団体等	2

4. 各支所との連絡調整

- (1) 赤堀支所に係る事業の連絡調整
- (2) あずま支所に係る事業の連絡調整
- (3) 境支所に係る事業の連絡調整

5. 共同募金会への協力

地域福祉と民間の社会福祉事業のための計画募金である「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」を、各行政区の区長はじめ、民生委員、ボランティア等関係団体の協力を得て実施するとともに、地域配分に係る申請受付・審査・配分業務を実施しました。

また災害時の対応として、火災にあわれた世帯に対して見舞金の贈呈を行ったほか、熊本地震ほか災害義援金の受付を実施しました。

- ・支会長 本田 稔
- ・運営委員会 3回
- ・募金委員会 2回
- ・運営委員・募金委員合同会議 1回

6. 戦没者等追悼式の執行

伊勢崎市から委託を受け、平成28年11月10日（木）伊勢崎市文化会館大ホールを会場に、遺族並びに地域福祉を担う関係者約610人が参列し、伊勢崎市戦没者等追悼式を行いました。

黙とう、追悼の辞、献花、小学生による「平和への想い」作文朗読等の式典をしめやかに執り行い、参列者一同が戦没者等諸霊に対し感謝と平和への祈りをささげ、平和な郷土を築くことを誓い、安らかなご冥福を祈念しました。

また、ロビーでは、「平和への想い」をテーマにした小学生の絵画を展示しました。

7. 相談事業の開催

- (1) 心配ごと相談事業（各支所に相談所を開設）

社会福社会館（月曜日）及び赤堀（火曜日）・あずま（水曜日）・境（金曜日）各支所で毎週1回、ふれあいセンター・境社会福祉センターで毎月1回相談所を開設し、市民の日常生活上の課題克服に関する相談に応じ適切な助言指導を行いました。

○相談件数

	伊勢崎	赤堀	あずま	境	ふれあい センター	境社会福祉 センター	合計
開催日数（日）	43	46	46	46	11	10	202
相談件数（件）	46	28	12	16	4	1	107

○相談状況

(件)

	解 決	再 来	民生委員	他機関	その他	計
生 計	0	2	0	5	3	10
年 金	0	0	0	1	0	1
職業・生業	1	1	0	4	2	8
住 宅	2	0	0	2	0	4
家 族	3	1	1	14	8	27
結 婚	0	0	0	0	1	1
離 婚	0	0	0	4	1	5
健康・保健・衛生	0	0	0	0	3	3
医 療	0	0	0	3	1	4
人権・法律	0	0	0	3	1	4
財 産	1	0	1	9	3	14
事 故	0	0	0	0	0	0
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0	0	0
障害者（児）福祉	0	0	0	1	0	1
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	1	0	0	1	0	2
苦 情	0	0	0	5	2	7
そ の 他	7	0	1	1	7	16
合 計	15	4	3	53	32	107

(2) 結婚相談事業

毎週金曜日及び毎月第1・3日曜日、結婚の機会提供のための相談所を開設し、結婚に関する相談に応じ適切な助言と紹介業務を行いました。また、「出会いの場」の提供として、年2回のお見合いパーティー開催のほか、結婚に向けての意識啓発や身だしなみ・会話力等の個人の魅力アップを図るセミナーを開催しました。

○相談件数・相談状況

開催日数	68 日	相談件数	641 件	お見合い (延べ)	80 組
登録者数 (年度末)	男	女	計	交際中 (延べ)	133 組
	172 人	88 人	260 人	所内結婚成立	4 組

(3) その他必要な相談

日常業務での各種相談の対応に努めました。

8. 権利擁護体制の充実

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な利用者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス等を行うことにより、地域の中で安心した生活が送れるよう援助を行いました。

事業対象地域	伊勢崎市、(佐波郡) 玉村町
--------	----------------

○事業状況

相談件数	総件数				2,676 件
相談形態	訪問相談	24 件	来所相談	80 件	
	電話相談	2,572 件	その他	0 件	
相談分野	認知症高齢者	390 件	知的障害者	673 件	
	精神障害者	1,511 件	寝たきりの高齢者	0 件	
	身体障害者	0 件	その他	102 件	
申請件数	総件数				26 件
契約締結審査会依頼数	審査依頼件数				1 件
支援計画策定状況	策定件数				26 件
内 訳	認知症高齢者	14 件	知的障害者	0 件	
	精神障害者	12 件	寝たきりの高齢者	0 件	
	身体障害者	0 件			
利用契約の締結状況	契約締結件数				26 件
内 訳	認知症高齢者	14 件	知的障害者	0 件	
	精神障害者	12 件	寝たきりの高齢者	0 件	
	身体障害者	0 件			
生活保護受給者数	上記利用契約のうち生活保護受給者数				10 人
生活支援員の登録状況	生活支援員登録者数				42 人
生活支援員の雇用状況	生活支援員の雇用者数				36 人

○相談者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
計	390	673	1,511	102	2,676

○契約者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
新規契約者数	14	0	12	0	26
継続契約者数	19	23	40	0	82
計	33	23	52	0	108

○援助状況

	延べ利用者数	援助時間数
計	1,121 人	1,642 時間

- (2) 地域包括支援センター及び障害者（児）相談・生活支援センター等との連携強化
各圏域地域包括支援センター開催の地域ケア個別会議や、障害者（児）相談・生活支援センター等が主催している会議等に積極的に参加し情報交換や連携強化に努めました。
- (3) 成年後見制度等の相談援助
成年後見制度の概要説明や専門職団体等の紹介をしました。
- (4) 市民後見人の育成活動支援
県及び県社協主催の勉強会や情報交換会に積極的に参加し情報収集に努めました。
- (5) 啓発・研修事業の実施・協力
管内の生活支援員を対象とした研修会を開催し情報共有、意見交換等を行いました。
- (6) 関係機関連絡会議等の開催
一般社協（玉村町社協）と連絡会議を開催し情報の共有に努めました。

9. 生活困窮者への支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

群馬県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業について、民生委員の協力を得ながらハローワーク及び行政等と連携し、相談・貸付の申請を受理するとともに、償還指導を実施し、借受世帯の生活の向上に向けて支援することができました。

○生活福祉資金貸付申請状況

(円)

資 金 種 類		件数	金額	
生 活 福 祉 資 金	総合支援資金	生活支援費	15	4,596,000
		住宅入居費	1	110,113
		一時生活再建費	12	1,646,781
		計	28	6,352,894
	福祉資金	福祉費	4	1,088,000
		緊急小口資金	16	1,305,000
		緊急小口資金(震災被災者等対象の特例貸付)	0	0
		計	20	2,393,000
	教育支援資金	教育支援費	14	7,464,000
		就学支度費	18	6,816,000
		計	32	14,280,000
	不動産担保型 生活資金	不動産担保型生活資金	0	0
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0
計		0	0	
合 計		80	23,025,894	
臨時特例つなぎ資金		0	0	
総 合 計		80	23,025,894	

(2) 生活一時資金貸付事業

市内に居住する低所得世帯で生活困難におちいった世帯に対し、一時的に必要な生活資金を貸付けするとともに、償還に対する援助指導を行い、世帯の安定を図り生活の向上に向けた支援を行うことができました。

○生活一時資金貸付・償還状況

(円)

	申 請 件 数	貸付決定件数	貸 付 金 額	償 還 件 数	償 還 金 額
計	5	5	140,000	14	192,000

年度末貸付原資残高 1,068,246 円

(3) 高額療養費つなぎ資金貸付事業

国民健康保険法に基づく高額療養費が適用され、入院等で高額となった医療費の支払いが困難な世帯に対し資金を貸付けることにより、医療機関への支払が可能となり、療養費を心配することなく治療を行うことができ、生活の安定を図ることができました。

○高額療養費貸付状況

(円)

	申 請 件 数	決 定 件 数	貸 付 金 額
計	52	52	10,887,425

(4) 生活困窮者自立支援事業の協力

生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議に出席し支援プラン作成に協力しました。

- ・支援調整会議開催回数 12回

10. 社会参加・生活支援充実

(1) 車いすの貸出事業

介護保険において自立と判定された者等に対し福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の向上を図り、利用者の外出や移乗の援助を行うことができました。

(件)

	伊勢崎	赤堀	あずま	境	計
車いす延べ利用件数	55	4	29	36	124

(2) 福祉車両の貸出事業

身体障害者等が外出する際の車いす用低床車を家族等に貸出すことで、外出を容易にし、通院や買い物など日常生活を行う場合の利便性を図り、社会参加及びレクリエーション活動等への参加に対する交通手段を確保することができました。

○貸出状況

	延べ利用者数	貸出日数	距離
地域福祉推進課	48件	49泊 98日	1,835 km
あずま支所	53件	38泊 91日	2,520 km
境支所	72件	36泊 108日	2,427 km
合計	173件	123泊 297日	6,782 km

○使用車両

	使用車両
地域福祉推進課	ホンダNBOX (平成26年7月から社協でリース)
あずま支所	スバルサンバー(平成15年登録社協保有車) トヨタシエンタウエルキャブ(平成28年登録社協保有車)
境支所	ホンダNBOX (平成27年3月から社協でリース)

(3) 意思疎通支援事業

伊勢崎市からの委託を受け、市内在住の聴覚障害者の需要に応じた事業(手話通訳者設置事業・手話通訳者派遣事業)を実施することにより意思疎通の保障を確保し、自立と社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

① 手話通訳者設置事業

- ・手話通訳者設置場所 伊勢崎市社会福祉協議会：地域福祉推進課
- ・手話通訳活動件数 1, 054件

○手話通訳活動別件数

	依頼件数	通 訳	電話通訳	連絡 打合せ	相 談	その他
合計	1, 054	213	36	645	18	142

○手話通訳内容別件数

	公的機関	医療機関	教育・ 保育	職業・ 資格	大会・会 議・講演会	団体活動	その他	合計
合計	14	129	36	72	2	149	652	1, 054

②手話通訳者派遣事業

- ・市登録手話通訳者 23人（今年度活動可能通訳者18人）
 - ・派遣件数 585件
 - ・派遣人数 613人
- *大会、会議、講演会など2時間を超える内容等の派遣は、複数派遣しています。

平成28年度は、手話通訳者設置事業と手話通訳者派遣事業を実施しました。
要約筆記者派遣事業については、市で実施しました。

11. ボランティア・市民活動センター

(1) ボランティア活動に関する相談・斡旋（コーディネート）

- ①ボランティア活動相談件数 145件
- ②ボランティア登録
 - 個人 44人
 - 団体(119団体) 8, 507人
 - 計8, 551人

(2) ボランティアの養成講座開催・活動支援

福祉教育サポーター養成講座「スキルアップ研修」の実施

福祉教育のサポートボランティア登録者向けにスキルアップ研修を実施しました。

- ・平成29年1月24日 ボランティア講話、手話講座、車いす・ブラインドウォーク体験 25人

(3) 災害ボランティア事業

①災害ボランティアセンター設置時における運営ボランティア登録者募集

災害発生時に迅速に災害ボランティアセンターの運営を行うためのボランティアとして登録者を募集しました。

登録者数：32人

②熊本地震街頭募金活動

・平成28年4月29日(金)・5月8日(日)

募金活動実施場所：スマーク伊勢崎構内

募金ボランティア協力者：ボランティアメール登録者・市内大学生・ボランティア協会

協力者数：2日間で延べ78人

③殖蓮地区自主防災組織訓練参加

・平成28年11月7日(月)

殖蓮小学校校庭を会場として実施された訓練に、災害時運営ボランティアと共に参加し支援物資(衣類)を仕分けして避難所へ送り出す訓練と、段ボールを組み立てて避難所スペースを設置する訓練を行いました。

参加者数：18人

④災害時運営ボランティア研修会

・平成29年2月24日(金)

平時においても災害に関する認識を高め、災害時運営ボランティアの相互連携を図ることを目的に研修会を実施しました。

参加者数：19人

(4) 市民ボランティアフェスティバルの開催(市と共催)

平成29年2月5日(日) 緋の郷にて開催をしました。「世代を笑顔で結び愛」をテーマに、ブース展示、ステージ発表、バザーや子ども活動が行われ、55団体、一般来場者も含めて1,000人の参加、来場がありました。

(5) ボランティア・市民活動団体情報交換会の開催(市と共催)

・平成28年6月25日(土)「団体活動・地域活動に役立つレクリエーションについて」と題した参加型の講演や日赤奉仕団、ボランティア団体等の協力により非常食作成訓練に各種団体が参加し、団体交流や情報交換を行いました。

・平成28年11月27日(日)「子ども遊びに関するボランティア団体の活動を知ろう」をテーマに、学生をはじめ各種団体が参加し、交流会を行いました。

(6) 福祉教育の推進

社会福祉協力校を1校指定し活動を支援するとともに、総合学習における車いす・高齢

者疑似体験等の体験学習を各学校において実施し福祉教育を支援しました。

①社会福祉協力校の指定

学童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉の関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるため、市内の小・中学校・高校を社会福祉協力校として指定、活動費の助成を行いました。

※平成28年度の指定校 第二中学校

②総合学習への協力（福祉体験教室への支援）

市内の小学校から依頼を受け総合学習等の時間に車いす・高齢者疑似体験等の福祉教育を福祉教育サポーターと共に支援しました。

○福祉体験学習実施状況（学校別）

支 所	学 校 名	学年	クラス	人数	月別	内 容
伊勢崎	豊受小学校	4	3	106	6月	車いす体験
	三郷小学校	4	3	94	7月	高齢者疑似体験
	北第二小学校	4	2	42	10月	車いす体験
	北小学校	4	3	77	11月	車いす体験
	北小学校	4	3	77	12月	高齢者疑似体験
	三郷小学校	4	3	96	12月	高齢者疑似体験
	殖蓮第二学校	4	3	81	2月	車いす体験
赤堀	赤堀小学校	4	3	98	6月	車いす体験
	赤堀小学校	4	3	98	6月	ブラインドウォーク体験
	赤堀東小学校	4	3	78	6月	車いす体験
あずま	あずま小学校	4	3	89	6月	車いす体験
	あずま北小学校	4	3	86	11月	車いす体験
境	境剛志小学校	5	2	53	6月	車いす体験
	境東小学校	4	2	50	11月	ブラインドウォーク体験
	境采女小学校	4	3	73	1月	車いす体験
	境東小学校	5	2	52	11月	車いす体験
合 計	14校（延16回）		44	1,250		

(7) 介護支援ボランティア事業

65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人が、介護支援ボランティア活動を行うことを通じて、高齢者の社会参加・社会貢献活動の奨励、介護予防と生きがいつくりの促進をするとともに、ボランティアが地域の支え手として活動できる地域社会づくりを推進しました。

・基本研修の実施

介護支援ボランティアについての概要説明、活動内容等について

計3回実施（平成28年5月31日（火）、8月9日（火）、11月29日（火））

・ボランティア活動対象施設

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所 計31施設

・活動実績

登録人数 267人（内、平成28年度新規登録人数 93人）

延べ活動人数 2,230人

延べ活動時間 3,234時間

(8) ままサロン“まま”のほっとステーション事業

子育てに悩みがちな母親がほっとできる空間をつくることを目的に、ボランティアの協力を得てサロンを開催しました。

○社会福祉会館ボランティアルーム（一部児童センターふれあいルーム）で毎月第3月曜日に開催

○12回開催 延べ参加者：200人（ボランティア含む）

(9) シニア傾聴ボランティア養成支援事業(新規)

悩みを持つ人の話し相手となり、悩みを持つ人が自分自身で悩みを克服できるよう手助けを行う傾聴ボランティアの活動を支援するための講座を実施しました。

・平成28年11月15日（火）（第1回）

・平成28年11月21日（月）（第2回）

(10) シニア社会生活支援講習会事業(新規)

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために必要な知識・技術を身につけ、自らの介護予防・健康づくりに役立てるとともに、日常生活や地域のボランティア活動に役立てることで高齢者の社会参加・社会貢献を促進することを目的に講習を実施しました。

・平成28年7月12日（火）（第1回）

・平成28年7月19日（火）（第2回）

(11) ボランティア・市民活動センター啓発事業（新規）

地域のイベントや事業に参加し、啓発品の配布やパネル展示等で積極的な啓発を行いました。

・平成28年10月 2日（日） 健康まつり（ジュニアリーダー、大学生、市民ボランティアと共に参加しました。）

・平成28年11月12日（土） 東京福祉大学学園祭（認知症支援ボランティアと共に参加しました。）

12. 障害者（児）相談・生活支援センター

障害者総合支援法に基づく市町村の必須事業で、障害者の福祉に関する各般の相談に応じ、情報の提供及び福祉サービスの利用支援等を実施しました。また、事業を効果的に実施するため自立支援協議会（定例会）の運営を通じネットワーク構築、社会資源の開発・改善を推進しました。

市から業務委託を受けた（社福）伊勢崎市愛のはぐるま会、（社福）明清会、（社福）桑の実福祉会と共に境地域福祉センター内にて、伊勢崎市障害者（児）相談・生活支援センターとして、身体・知的・精神の三障害を対象に事業を実施しました。

また障害を持つ相談員（ピアカウンセラー）による障害当事者同士の相談支援（ピアカウンセリング）を実施しました。

①相談支援の実施状況（社会福祉協議会実施分＝主に身体障害を担当しました）

年間延べ支援者数	身体障害者	624人	身体障害児	2人
	重症心身障害者	2人	重症心身障害児	0人
	知的障害者	44人	知的障害児	3人
	精神障害者	40人	精神障害児	0人
	発達障害者	0人	高次脳機能障害者	13人
	その他（者）	86人	その他（児）	0人
	合 計			
年間支援回数	訪 問	186回	来所相談	11回
	同 行	17回	電話相談	224回
	電子メール	4回	個別支援会議	24回
	関係機関	575回	その他	2回
	合 計			
支援内訳 (うちピアカウンセリング)	福祉サービス利用	589件 (3件)	障害・病状の理解	10件 (0件)
	健康・医療	167件 (0件)	不安の解消・安定	184件 (9件)
	保育・教育	3件 (0件)	家族・人間関係	73件 (7件)
	家計・経済	28件 (2件)	生活技術	41件 (5件)
	就労	11件 (0件)	社会参加・余暇支援	4件 (0件)
	権利擁護	43件 (4件)	その他	69件 (5件)
	合 計			

②市自立支援協議会(定例会)の運営

月	参加者	主な検討内容
5月	18人	自立支援協議会について・定例会について
6月	27人	障害児から者へ変わった時のサービスの変化について
7月	20人	多文化共生部会からの報告・夕方支援について
9月	19人	夕方支援について
10月	22人	夕方支援のアンケートについて
11月	13人	夕方支援のアンケートについて
12月	0人	アンケート集計の為、定例会中止
1月	23人	夕方支援のアンケート集計報告 今後の対応について
3月	18人	障害者センター見学。今年度の感想等
計	160人	

13. その他の地域福祉推進

(1) 社会を明るくする運動への協力

歩行パレード等街頭での広報活動、講演会、公開ケース研究会、作文コンテストへの支援を行いました。

- ・平成28年6月20日(月) 伊勢崎佐波推進委員会及び実行委員会
- ・平成28年6月29日(水) メッセージ伝達式(伊勢崎市・玉村町)
- ・平成28年7月16日(土) 歩行パレード
- ・平成28年8月10日(水) 社明講演会

(2) その他必要な事業

地域福祉の推進に必要な事業を実施しました。

□赤堀支所

1. 赤堀地区地域福祉推進協議会

(1) 地区事業の企画・検討

- ・第1回会議 平成28年5月20(金)
委嘱状交付式について(新委員3人)
平成28年度事業計画について
赤堀圏域地域包括ケアシステムの情報交換会の経過状況について
- ・第2回会議 平成29年1月25日(水)
委嘱状交付式について(新委員6人)
役員の選任について(副委員長・監事)
赤堀圏域地域包括ケアシステムの情報交換会の経過状況について

(2) 小地域活動の推進及び支援

地域の実情を考慮した住民参加の福祉を推進するため、地域福祉に関する課題を協議検討するとともに、地区事業推進にあたり意見具申や情報交換を行いました。

2. 赤堀地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため会議を開催し、赤堀地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回会議 平成28年 5月20日(金)
- ・第2回会議 平成28年 6月 8日(水)
- ・第3回会議 平成28年 8月24日(水)
- ・第4回会議 平成28年11月 7日(月)
- ・第5回会議 平成29年 1月25日(水)

(2) 事業の推進

赤堀地区社会福祉協議会の各事業の実施を支援しました。

- ・赤堀地区金婚式記念式典 [平成28年11月12日：赤堀公民館]
- ・戸外サービス [平成29年3月6日：老人いこいの家]
- ・世代間交流事業 [各行政区 会議所実施]
- ・ゆうあい昼食会事業 [平成28年10月17日：老人いこいの家] への協力
- ・介護予防・防災教室事業 [平成29年2月12日：老人いこいの家] への協力

3. 地域福祉活動の推進

(1) 友愛訪問事業

一人暮らし高齢者等で見守りが必要と思われる方に対し、地域ボランティアや民生委員が定期的に訪問し、安否確認や話し相手等の見守り活動を行いました。住民参加による地域福祉ネットワークを形成することができ、対象者の支援に役立ちました。

①定期友愛訪問（地域ごとに毎月1回）

ボランティアや民生委員による見守り活動。ヤクルトを持参。
訪問人数：延べ1, 276人（12月は年末友愛訪問の実施）

②敬老友愛訪問（9月19日（月）敬老の日に訪問）

ボランティアによる手づくり品を贈り友愛を図りました。「膝掛」を贈呈。
訪問人数：116人

③年末友愛訪問（12月7日（水）に訪問）

ボランティアによる手づくり品を贈り友愛を図りました。「お饅頭」を贈呈。
訪問人数：116人

(2) ふれあいサロン事業

地域の中で孤独になる人をつくらないということを目的として、小地域を単位としたふれあいの場を設け、サロン活動を推進しました。

- ・参加者 家に閉じこもりがちな高齢者等
延べ1, 055人（17地区28回開催）
- ・協力団体 赤堀福祉ボランティアの会

(3) 世代間交流事業

少子高齢化や核家族化が進む中、地域が一体となってネットワークの充実を図り、住みよい地域社会をつくることを目的に実施される世代間交流事業に対する支援を行いました。

- ・実施主体 赤堀地区社会福祉協議会、伊勢崎市社会福祉協議会赤堀支所
- ・参加者 地域に居住する住民（子どもから高齢者、障害者等）
延べ3, 432人（18地域、全46回開催）
- ・内容 グラウンドゴルフ、新一年生歓迎会と見守り隊交流会、芋ほり、交通安全教室、いこいの森清掃等

(4) ゆうあい昼食会事業

日頃、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に昼食会を開催し、食事をしながら、近隣の同じ環境の高齢者との交流を深めました。

- ・日 時 10月17日(月)
- ・会 場 老人いこいの家
- ・参加者 家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者と支援者 61人
- ・協力団体 赤堀福祉ボランティアの会、赤堀地区社会福祉協議会

(5) 介護予防及び防災教室事業

介護予防の大切さ等を広く住民に認識していただくとともに、介護予防体操も行いました。また、防災意識を高め、安心して暮らせる地域の基盤づくりを推進するために、災害に対する心がけの講話と非常食作成の体験を行いました。

- ・日 時 2月12日(日)
- ・共 催 磯沼荘事業所、赤堀地区社会福祉協議会
- ・会 場 老人いこいの家
- ・参加者 87人

(6) 子育てサロン

子育ての当事者など、地域住民が多様な活動を通じて、子育てを楽しみながら仲間づくりを行い、支え合える活動に対する支援を目的に事業を行いました。

- ・開 催 毎月1回(計12回)
- ・会 場 地域の集会所等
- ・対 象 未就学の子ども、母親(毎回20人程度参加)
- ・共 催 赤堀福祉ボランティアの会
- ・協 力 タバサ(カウンセリング相談室)

(7) 福祉体験教室への支援

総合学習における車いす体験・ブラインドウォーク体験学習(赤堀小・赤堀東小)において福祉教育を支援しました。

- 車いす体験支援：赤堀小4年(3クラス)98人・赤堀東小4年(3クラス)78人
- ブラインドウォーク体験支援：赤堀小4年(3クラス)98人

(8) 赤堀地区地域包括ケアネットワークとの連携

赤堀圏域地域包括ケアネットワーク会議に参加し、個別事例から見えてくる地域の課題等について意見交換して連携を図りました。

□あずま支所

1. あずま地区地域福祉推進協議会

(1) 地区事業の企画・検討

- ・第1回会議 平成28年5月23日(月)
平成28年度事業計画について
- ・第2回会議 平成29年1月24日(火)
副委員長の選任について

(2) 小地域活動の推進及び支援

地域の実情を考慮した住民参加の福祉を推進するため、地域福祉に関する課題を協議検討するとともに、地区事業推進にあたり意見具申や情報交換を行いました。

2. あずま地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため会議を開催し、あずま地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回会議 平成28年 5月23日(月)
- ・第2回会議 平成28年 8月25日(木)
- ・第3回会議 平成28年10月26日(水)
- ・第4回会議 平成29年 1月24日(火)

(2) 事業の推進

あずま地区社会福祉協議会の各事業の実施を支援しました。

- ・あずま地区金婚・ダイヤモンド婚記念式典〔平成28年11月23日(水)：あずま公民館〕
- ・戸外サービス事業〔平成28年7月26日(火)：茂美の湯〕
- ・ふれあい事業〔ひとり暮らし高齢者ふれあい昼食会：年4回〕への協力
- ・赤い羽根共同募金法人募金〔平成28年11月11日(金)〕への協力
- ・あずま福祉まつり〔平成28年12月18日(日)：みやまセンター〕への協力

3. 地域福祉活動の推進

(1) 友愛訪問事業

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、月1回友愛訪問を兼ねて自宅に弁当をお届け

しました。高齢者の安否確認、コミュニケーション活動として実施し、あずま地区民生委員・児童委員とボランティアが1ヶ月交代で協力していただきました。

- ・月平均利用者 44人
- ・延べ利用人数 533人

(2) ふれあい事業「ひとり暮らし高齢者ふれあい昼食会」

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、あずま地区民生委員・児童委員の協力により年2回、あずまボランティアの会の協力により年2回の計4回実施。

舞踊、フラダンス、交通安全講話、民謡、アコーディオン演奏の催し物の後、手作りの料理で昼食を楽しみ、ふれあいの場、仲間づくりの場を提供しました。

- ・期 日 平成28年5月29日(日)、9月25日(日)、11月27日(日)、平成29年2月26日(日)
- ・会 場 みやまセンター 大広間
- ・参加者 延べ 519人

(3) 子育てサロン

子育て中の親子が気軽に参加し、情報交換や遊びなどを通して交流を深めることで、育児を楽しみながら仲間づくりや子育ての悩み等を相談・共有できるよう、ふれあいの場を提供しました。

- ・開 催 毎月1回(計12回)
- ・会 場 高齢者生きがいセンター
- ・対 象 未就学の子ども、母親
- ・参加者 延べ 690人
- ・内 容 リトミック、読み聞かせ、エコバッグ作り、七夕飾り、お月見饅頭作り
クリスマス会、親子ふれあい体操等
- ・協 力 民生委員・児童委員、ボランティア等

(4) ひとり暮らし高齢者ふれあいお茶会事業

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、民生委員・児童委員協力のもと、新年の顔合わせを兼ねて初釜の抹茶をいただき、お茶の作法や歴史について学びました。

参加者同士、談笑しながらふれあい、楽しいひとときを過ごしていただきました。

- ・期 日 平成29年1月17日(火)
- ・会 場 高齢者生きがいセンター
- ・参加者 98人

(5) 高齢者いきいき講座事業

高齢者の介護予防及び日常生活上の自立を目的に健康の増進を図りながら生きがい・健康づくりに関する健康体操・健康講座・料理教室などを行い活力ある地域社会づくりをめざすことを目的に開催しました。

- ・開催 毎月第3木曜日（全12回）
- ・会場 高齢者生きがいセンター
- ・参加者 延べ 287人
- ・内容 健康体操、料理教室、健康講座（介護予防、筋力トレーニング、健康講話
ミュージックケア、フラダンス、アコーディオン演奏、包丁研ぎ等）

（6）あずま福祉まつり事業

「助け合い・支え合いで育む“あずま”の絆づくり」をテーマに、地域福祉活動の推進、社会福祉の啓発を図り、地域住民、子どもと高齢者等と一緒に集い、地域の絆を実感し地域福祉の推進につながるよう福祉まつりを開催しました。

福祉講演会や社協事業・各種団体の活動紹介、子育てサロンを行うと共に、東消防署の体験コーナー、福祉施設による物品販売、中学校や愛好会等によるハンドベル、ダンス、踊り等の催し物や無料模擬店などで会場がにぎわいました。

- ・期 日 平成28年12月18日（日）
- ・会 場 みやまセンター
- ・参加者 256人
- ・講 演 「日常生活に活かせるボディメカニクス」～介護技術の視点から～
講師：森田 浩幸 氏

（7）ボランティア養成講座

ボランティア活動で大切なこと、ボランティア活動をよりよい活動としていくための基本的な知識を学習し、地域にとってのボランティアの必要性の理解と今後の協力体制ができるようボランティアを育成するため養成講座を開催しました。

- ・期 日 平成29年3月1日（水）
- ・会 場 高齢者生きがいセンター
- ・参加者 42人
- ・内 容 ○講義「ボランティア活動のマナー・心がけ」
講師：伊勢崎市ボランティア・市民活動センター
主任 高川靖哲 氏
- 活動紹介・交流
 - ・ボランティア活動において大切なこと
 - ・あずま地区のボランティア活動について
 - ・アコーディオン演奏に合わせての合唱

（8）世代間交流事業

少子高齢化や核家族化が著しく進行している中、高齢者世代、子ども世代の世代間の交流を地域で図ることを目的とし開催しました。

- ・期 日 平成28年12月16日（金）、平成29年1月24日（火）
- ・会 場 あずま北小学校、あずま南小学校

- ・参加者 延べ 230人
- ・内 容 昔遊び（けん玉、輪投げ、おはじき等）

(9) 福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

- ・平成28年 6月15日（水）あずま小学校 4年生89人 車いす体験
- ・平成28年11月 1日（火）あずま北小学校 4年生86人 車いす体験

(10) あずま地区地域包括ケアネットワークとの連携

東圏域地域包括ケアネットワーク会議に参加し、個別事例から見えてくる地域の課題等について意見交換して連携を図りました。

□境支所

1. 境地区地域福祉推進協議会

地域の実情を考慮した住民参加の福祉を推進するために設置されています。

(1) 地区事業の企画・検討

【第1回】平成28年6月16日（木）

- ・委嘱状交付式
- ・伊勢崎市社会福祉協議会境支所関係事業について協議・検討

【第2回】平成29年1月27日（金）

- ・委嘱状交付式
- ・福祉施策の動向について協議・検討

(2) 小地域活動の推進及び支援

会議の開催を通じて、地域福祉の推進に向けての情報交換を行いました。

2. 境地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

境地区社会福祉協議会の事務局として、役員会議等を開催し、支援体制づくりに務めました。

【第1回】平成28年 6月16日（木）

【第2回】平成28年 8月23日（火）

【第3回】平成28年 9月13日（火）

【第4回】平成28年 10月27日（木）

(2) 事業の推進

- ・境地区金婚記念式典（平成28年11月8日（火）：境地域福祉センター）
- ・戸外サービス事業（平成28年9月26日（月）：天然温泉かんなの湯）

3. 地域福祉活動の推進事業

(1) 給食サービス事業

①給食サービス

見守りの必要な境地区内に居住する地域住民との交流の少ない一人暮らしまたは二人暮らしの高齢者世帯で、食事の準備が困難な方等を対象にボランティアが手作り弁当を手渡ししながら、安否確認・友愛訪問を行いました。

当日の調理から各中継地点へ車での配達、行政区単位の利用者への手渡しまで、境ボランティア連絡協議会会員及び個人ボランティアの協力を得て行いました。

- ・実施日 第1～第4木曜日の月4回
- ・延べ実施回数 44回
- ・延べ配食数 2, 253食
- ・関係ボランティア 1, 065人

②食品衛生講習会

給食サービスを実施するにあたり、食中毒等の事故防止のため、食品衛生について講習会を開催しました。

- ・実施日 4月22日（金）
- ・参加者 130人
- ・演題 「食中毒予防と衛生対策」
- ・講師 手塚 秀氏（藤岡保健福祉事務所 食品監視係）

(2) 介護予防講座

市民が介護予防についての知識や方法を理解し、地域全体で介護予防に取り組む環境整備と意識啓発を行うため実施しました。

【第1回】

- ・実施日 12月19日（月）
- ・参加者 27人
- ・講座内容 「ラフターヨガ」（笑顔編）
- ・講師 女屋 かほる氏

【第2回】

- ・実施日 1月23日（月）
- ・参加者 55人
- ・講座内容 「ラフターヨガ」（深呼吸編）
- ・講師 女屋 かほる氏

【第3回】

- ・実施日 3月7日（火）
- ・参加者 24人
- ・講座内容 「貯筋運動」
- ・講師 西部スポーツクラブ 平林 敦子氏

(3) 筋力トレーニング講習会

市内全域の高齢者が、健康で豊かな老後を送れるよう、介護予防に効果のある筋力トレーニングの普及と地域指導者のレベルアップを図ることを目的として実施しました。

- ・実施日 第1回 7月13日（水）、第2回 12月21日（水）
- ・延参加者 147人
- ・講師 医学博士・理学療法士 浅川康吉氏
- ・対象者 筋力トレーニング地域支援者、

筋力トレーニング指導者連絡協議会会員 ほか

- ・協力団体 伊勢崎市介護予防筋力トレーニング指導者連絡協議会

(4) 障害者サロン

精神障害をもつ人が気軽にかつ自由に集い、楽しみながら情報交換や交流、仲間づくりを行う場を提供することを目的に、ボランティアの協力によりサロン活動を実施しました。

- ・実施日 毎月第1土曜日 第3金曜日（月2回実施）全22回
- ・参加者 市内在住の精神障害者及びボランティア等延べ465人
- ・協力団体 社会福祉法人やよい福祉会、障害者福祉ボランティア「そよ風」
精神障がい者ピアカウンセラー

(5) 高齢者いきいき講座

高齢者が健康で心豊かな生活を営むことができるよう、多様な内容で生きがいづくりや健康づくりを行うことを目的に開催しました。

- ・実施日 8月16日、9月20日、10月18日、11月15日、
12月20日、1月17日、2月21日、3月21日
- ・内容 「ウォーキング講座」、「伊勢崎市内の埋蔵文化財について」、「料理教室」、「そば打ち」等
- ・会場 境地域福祉センター、境公民館
- ・参加者 延べ128人
- ・対象者 市内在住の高齢者で全日程受講できる人

(6) 子育てサロン

子育て中の親と子が楽しみながら仲間をつくり、互いに支えあう活動の支援を行うことを目的に事業を実施しました。

- ・開催 毎月2回（計23回）
- ・会場 境地域福祉センター
- ・対象 未就学の子ども、母親
- ・参加者 延べ584人
- ・共催 境児童センター
- ・協力 民生委員・児童委員、ボランティア

(7) 福祉体験教室への支援

小学生を対象に福祉体験学習の指導を行い、自分で実際に体験することにより、相手の立場を理解し、思いやりの気持ちを持って接することができるよう学習しました。

- ・実施日 6月14日 境剛志小学校 5年生52人 車いす体験
11月15日 境東小学校 4年生50人 ブラインドウォーク体験
2月3日 境東小学校 5年生52人 車いす体験

(8) 子育て支援事業（夏休み宿題自習室）

小学生を対象に、夏休み期間仲間と一緒に学習するための場所を提供することを目的に実施しました。

- ・実施日 8月1日～8日（延べ5日）
- ・会場 境地域福祉センター並びに境児童センター
- ・参加者 延べ 129人
- ・指導者(リーダー) 元教職員2人
- ・対象者 市内在住の小学生

(9) 電話でお話し相手事業

地域の人と交流の少ない高齢者を対象に、傾聴のボランティアが電話による話し相手を行い、孤立感の解消や関係機関等への橋渡しを行いました。

- ・実施日 第1～第4木曜日
- ・会場 境地域福祉センター
- ・対象 市内在住の高齢者
- ・利用件数 217件
- ・協力団体 傾聴ボランティア「たんぽぽ」

(10) 地域災害講座

災害に対して何を備えればいいのか、また地域やボランティアなどで何ができるかについて、地域福祉、防災の観点から学びました。

- ・実施日 3月14日（火）
- ・参加者 41人
- ・講座内容 「防災について」
- ・講師 伊勢崎市 安心安全課 高野 久男 氏

(11) ボランティア体験スクール

これからを担う中学生が、ボランティア体験を行い、人との関りで大切なものに気付くこと、同世代の仲間と共にボランティア活動への関心を高めることを目的に実施しました。

- ・実施日 8月18日（木）・8月19日（金）
- ・内容 「ボランティア活動について」
「レクリエーション活動」「給食サービス体験」等
- ・参加者 延べ人数16人
- ・対象者 市内在住の中学生
- ・協力 ボランティア・市民活動センター、境ボランティア連絡協議会、個人ボランティア

(12) 介護保険事業の支援

地域包括支援センター境主催の地域包括ケアに関する講座の周知協力を努めました。

(13) 境地区地域包括ケアネットワークとの連携

境圏域地域包括ケアネットワーク会議に参加し、個別事例から見えてくる地域の課題等について意見交換して連携を図りました。

□在宅福祉課

1. 介護保険事業所の経営

利用者が住み慣れた地域の中で、可能な限り自立した生活を営むことが出来るよう、介護度が重くなることを防止し、現状の介護状態を維持または改善することを目的に、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴事業、通所介護(デイサービス)事業を実施しました。

また、介護保険事業経営改善検討委員会を設置し、経営改善に係る諸課題を検討し、経営の安定を図りました。

(1) 居宅介護支援事業

ケアプランの作成、予防ケアマネジメント、介護認定調査、住宅改修等の支援を行う事業であり、伊勢崎・あずま・磯沼荘の各事業所で実施しました。

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行いました。

○ 居宅介護支援事業実績

	ケアプラン	予防マネジメント	介護認定調査	住宅改修
伊勢崎事業所	1,085	274	91	8
あずま事業所	1,231	341	147	6
磯沼荘事業所	1,129	304	119	5
計	3,445	919	357	19

(介護認定調査受託市区町村：19市区町村)

(2) 訪問介護事業

要介護者や要支援者に対し、介護福祉士などの資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施しました。また、平成28年4月から介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス(介護予防訪問介護相当)、10月から訪問型サービスA(基準緩和訪問型)を実施しました。

① 利用者の世帯状況(平成29年3月31日現在)

区分	独居	夫婦2人	家族同居	計
男	31	7	4	42
女	47	10	18	75
計	78	17	22	117

② 利用者の要介護度（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	6	8	9	9	4	5	1	42
女	6	21	14	16	6	7	5	75
計	12	29	23	25	10	12	6	117

③ 利用者の年齢階層（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	69 歳以下	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳以上	計
男	4	6	4	8	12	8	42
女	7	8	5	21	20	14	75
計	11	14	9	29	32	22	117

④ 訪問介護事業実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
14,567 回	13,573.7 時間	900 人

⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービス・介護予防訪問介護事業実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
4,445 回	4,445.0 時間	535 人

⑥ 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス A（基準緩和訪問型）実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
26 回	26.0 時間	7 人

⑦ 福祉有償運送実績

延利用回数	延利用者数
310 回	107 人

(3) 訪問入浴事業

家庭での入浴が困難な要介護・要支援者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の世帯状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	独居	夫婦 2 人	家族同居	計
男	2	2	6	10
女	3	6	10	19
計	5	8	16	29

② 利用者の要介護度（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	0	1	4	3	9
女	0	0	0	1	2	9	8	20
計	0	0	1	1	3	13	11	29

③ 利用者の年齢階層（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	69 歳以下	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳以上	計
男	1	1	1	3	1	2	9
女	4	2	3	2	5	4	20
計	5	3	4	5	6	6	29

④ 訪問入浴事業実績

延訪問回数	延利用者数	入浴車台数
1,557 回	329 人	6 台

(4) 通所介護（デイサービス）事業

通所事業は、あずまデイサービスセンター、磯沼荘デイサービスセンターの 2 事業所で実施しており、平成 28 年 7 月からは、月曜日の祝日もデイサービスを開始しました。

サービス内容は、通所介護計画に沿って、入浴介助（一般入浴または機械浴槽を使用しての入浴）、送迎サービス、食事サービス（栄養並びに利用者の身体の状況及び嗜好を考慮した食事を提供）、機能訓練（心身等の状況に応じて日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するための訓練を実施）、その他必要な介護等を実施しました。

また、平成 28 年 4 月から介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービス（介護予防通所介護相当）を実施しました。

① あずまデイサービスセンター

季節に応じて地域参加型のイベントを企画し、地域の方や利用者と家族の交流が図られるよう事業を実施し、家族との連携を密にすることで安心して利用いただけるほか、家族の介護負担の軽減にも大きな成果を挙げています。また、利用者の生活リズムや健康状態を常に把握し、栄養士が作成する献立による食事、入浴、機能訓練、口腔ケアなど、利用者のニーズにあったサービスを心掛けました。

事業名	事業内容
夏祭り	<p>8月21日(日) みやまセンター大広間 112人参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おまつり広場：カラオケ、ゲーム(お菓子すくい、的当て) ・芸能発表：八木節、盆踊り ・模擬店：焼きそば、たこ焼き、ポテト、かき氷、麦茶、スポーツドリンク、いなり寿司、けんちん汁 <p>※利用者と家族の参加と地域の多くの協力者による地域参加型イベントとして夏祭りを実施。身体全体で夏を感じとりイベントを楽しみました。</p>
お花見事業	<p>普段外出の難しい利用者にセンター敷地内の桜や水生公園の花を眺めて季節感を味わう体験をしてもらうため、開花状況を考慮しながら企画実施しました。</p> <p>☆桜花見学 4月1日(金)・4日(月)・6日(水)</p> <p>☆花菖蒲(あずま水生公園) 6月10日(金)から15日(水)前後で送迎時に見学することが出来ました。</p> <p>☆コスモス花見(小泉町周辺) 10月17日(月)前後で送迎時見学することが出来ました。</p>
お誕生会	<p>デイルームにおいて、9月は敬老の日、12月はクリスマス会を兼ねて、誕生日を迎えた人を毎月お祝いしました。時折、ボランティアの方々による踊りや演奏等の演芸を披露していただききました。お誕生日の方には職員による季節の花で飾った手作りの写真付きのお誕生日カードをプレゼントし、歌をうたい、ケーキと紅茶で楽しいひと時を過ごしました。</p>
あずま中学校ボランティア部による慰問	<p>5月28日(土)、6月4日(土)、7月23日(土)、25日(月)、26日(日)、10月27日(木)、29日(土)、1月28日(土)に、あずま中学校ボランティア部の生徒がデイサービスに来所し、ハンドベルやダンスを披露してもらいました。歌をうたったり会話をしたりしながら交流を図りました。</p>
マーチングバンドの見学	<p>10月4日(火) 赤堀小マーチングバンドを磯沼荘へ出かけ他の施設の利用者と共に手拍子をしながら演奏を楽しみました。</p>
ミニ運動会	<p>秋のスポーツシーズン10月17日(月)～22日(土)にレクリエーションの時間を使い、新聞ホッケー、パン食い競争、玉入れの競技を行いました。玉入れは曜日対抗戦として楽しみました。</p>
吹奏楽部の演奏	<p>11月26日(土) 赤堀中吹奏楽部の演奏鑑賞に磯沼荘に出かけ、迫力ある演奏を楽しみました。</p>
NPO 法人ママの働き方応援隊訪問	<p>3月23日(木) 赤ちゃんと母親が先生として高齢者と触れ合う「人間教育プログラム」を実施しました。ゲームや歌をうたって赤ちゃんに触れあい楽しい時間を過ごしました。</p>

機能訓練	<p>毎日、利用者の機能の維持・向上を目的に、機能訓練指導員（看護師）が中心となり、各介護員と連携をとりつつ、入浴前後、昼食前後の時間に個別に下記のような訓練を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行訓練、筋力強化訓練、階段昇降訓練、滑車訓練、立ち上がり訓練、横歩き訓練、エアロバイク、握力強化訓練、リングボール投げ ・塗り絵、計算問題、パズル、漢字読み、まちがい探し、折り紙、集団レク等 ・軽体操、健康リズム体操
口腔ケア	<p>口腔機能向上サービスを実施しました。利用者の口腔内の状態を把握するため、月2回歯科衛生士の診察を実施しました。治療が必要とされる利用者へ歯科衛生士に手紙を書いてもらい、受診して頂くよう促しました。また、昼食前に「お口の体操」、昼食後は歯磨き、口腔清拭、義歯洗浄、舌磨きを行い、口腔機能の向上を図りました。</p>
音楽リハビリ	<p>毎月1回、講師の伴奏に合わせて集団で歌を歌うことで気分が上昇し、リラックスできました。</p>
体操リハビリ	<p>毎月1回、訓練を行う能力を有する者の指導のもと、講師のかけ声やカウントにより、身体に無理のない範囲内で運動を行い、皆さんと一緒に楽しく積極的に正しい方法で身体を動かす事が出来ました。</p>
消防訓練	<p>平成28年9月26日（月）及び平成29年3月10日（金）に、みやまセンターと合同で消防訓練を実施しました。</p>

② 磯沼荘デイサービスセンター

既存の通所サービスでは、医療ニーズの高さなどから受け入れが難しいとされている利用者や、認知症重度者を受け入れるとともに、看護、介護のスタッフが連携し、利用者の生活リズムや健康状態を把握し、常に利用者の声に耳を傾ける事が出来る体制をつくりました。入浴、食事、機能訓練、口腔ケア等、利用者のニーズに応じたサービスを提供することで、利用者が自信をもち、日常生活において通常欠かすことの出来ない基本動作（食事、排泄、入浴など）や、ADLの維持・向上につなげることが出来ました。また、家族との連携を図ることで、安心して利用していただくとともに、家族の介護負担も、大きく軽減する事が出来ました。

事業名	事業内容
磯沼荘デイサービスセンターお花見事業	<p>桜の見学(磯沼) 3月30日（水）～4月9日（土）（10日間） 隣接する磯沼の桜のお花見会を実施しました。青天の日には、満開の桜を見ながら、春の歌を歌い楽しい時間を過ごしました。</p> <p>小菊の見学(小菊の里) 10月31日（月）～11月10日（木）（10日間） 小菊の里まで歩いて移動し、綺麗な菊を観賞しました。 季節の花を観賞することで季節感を感じ、職員及び利用者同志のコミュニケーションを図ることが出来ました。</p>

ボランティアによる演奏会等	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ会 毎月開催 ・ADL体操 毎月開催 ・ハーモニカ演奏会 4月19日(火) 2月4日(土) ・アコーディオン演奏会 5月9日(月)・9月9日(金)・ 3月21日(火) ・ラフターヨガ 6月28日(火) ・大正琴演奏会 7月8日(金) ・歌謡ショー 8月17日(水) ・ブラスバンド演奏会 9月19日(月) ・日本舞踊 11月7日(月) <p>馴染みの曲が多く、手拍子をしながら皆様、嬉しそうに聴かれておられました。楽器の綺麗な音色を聴き、気分転換ができた様子でした。</p>
赤堀小学校マーチング演奏会	<p>10月4日(火) 磯沼公園北側駐車場 小学生108人 参加者180人</p> <p>秋晴れの下、他の事業所の利用者を招待し、約20分間、マーチングバンドの演奏を楽しみました。</p> <p>若く力強い演奏に触れ元気と希望を与えてもらいました。また、他の事業所との協調事業として、地域との係わりを深められました。</p>
磯沼荘祭り	<p>10月13日(木)から15日(土) 磯沼荘ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13日…フラダンス・ぐんまちゃんと写真撮影会 ・14・15日…職員による催し物、ビンゴ大会 <p>3日間、お祭り週間として開催。利用者と職員が一緒になって、祭りの準備を行いました。当日は利用者と赤堀音頭や手話でふるさとを踊り、楽しみました。また、昼食やおやつはお祭り特別メニューを提供。記念品として、レクの時間にご自身で作ったフォトフレームに、ぐんまちゃんと写真をプレゼント。皆様、とても喜んでおられました。</p> <p>催し物や、美味しい食事を皆さんと一緒に楽しむことで、コミュニケーションを図ることができました。</p>
敬老会	<p>9月12日(月)～9月17日(土)</p> <p>敬老の日のお祝いとして、90歳以下の方にはメダル、90歳以上の方には表彰状をプレゼントさせていただきました。最後には皆さんで写真撮影を行いました。</p> <p>自分の歳や敬老の日を思い出すきっかけとなり、プレゼントを嬉しそうに受け取ってくださいました。</p>
ハロウィンパーティー	<p>10月31日(月)</p> <p>利用者は帽子や髪飾りで変装し、記念写真を撮りました。また、ハロウィン特別レクリエーションを開催し、盛り上がりました。</p> <p>利用者と職員が一緒になって季節の行事を楽しむことによって、連帯感が生まれ、お互いの結束を強くすることができました。</p>

赤堀中学校吹奏楽部演奏会	<p>1月26日（土） 磯沼荘北側駐車場 部員 54人 参加者 54人</p> <p>他の事業所の利用者を招待し、約20分間、演奏を楽しみました。若く力強い演奏に触れ元気と希望を与えてもらいました。また、他の事業所との協調事業として、地域との係わりを深められました。</p>
お誕生日会	<p>毎月、該当する利用者に、職員の手作りのプレゼントを渡し、皆で、ケーキを食べたり、お祝いの歌を歌いました。</p> <p>誕生日会を行うことで、改めて自分の誕生日を思い出す姿が見られ、現実感(日付、曜日)の改善につながりました。</p>
クリスマス会	<p>12月23日（金）～24日（土）</p> <p>利用者に、サンタクロースの衣装を着ていただき写真撮影を行いました。24日には、利用者の皆さんでクリスマスケーキ作りを行い、クリームなどで思い思いの飾り付けを行い、おやつに召し上がっていただきました。クリスマスプレゼントとして、靴下をプレゼントし、皆様喜ばれておられました。</p> <p>利用者にクリスマスの気分を味わっていただき、笑いも飛び交い、ストレス解消につながりました。</p>
節分の豆まき	<p>2月1日（水）～2月3日（金）（3日間）</p> <p>節分ゲームとして、『豆搦みゲーム』を行いました。（お皿にある大豆を、隣のお皿にお箸で移動するゲーム）また、鬼のお面作りも行い、出来たお面は廊下の壁に飾りました。</p> <p>催しごとを行う事で、笑顔が見られました。自分達で作った作品が壁画になっていると、廊下を通る度に嬉しそうにご覧になられておりました。</p>
ひな祭り	<p>3月3日（金）～3月4日（土）</p> <p>ひな祭りの特別メニューでちらし寿司を召し上がっていただきました。また、折り紙で雛人形作りを行い、壁に飾りました。</p> <p>美味しいご飯を頂きながら、全員で祝いました。昔を思い出し、楽しかった記憶が蘇ったようで、皆さんの生き生きとした表情が見られました。</p>
個別機能訓練	<p>AM 11:15～11:30 PM 2:30～2:45、PM 3:30～PM 3:45 の時間帯で、利用者の身体機能の維持向上を目的として、毎日実施しました。</p> <p><訓練内容></p> <p>集団体操、リズム体操、ラジオ体操、運動器具を使用した運動、起立訓練、歩行訓練、他</p> <p>自分にあったペースで、無理のない機能訓練を実施することができました。</p>

口腔機能訓練	<p>毎日の支援、指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食前の健康体操（嚥下体操、舌のトレーニング、唾液の分泌を良くするトレーニング） ・食後の口腔ケア（ブラッシング指導、磨き残しの確認、義歯の清掃、口腔内の異常の確認） ・月2回の歯科衛生士による、口の中の健康チェック、義歯洗浄、他利用者が一生美味しく、楽しく安全な食生活を営むことが出来るとともに、口腔内の異常の早期発見、確認が行えました。在宅では、なかなか出来ない口腔清掃、感染予防、清潔保持、口腔ケアの習慣付けが徐々に出来つつあります。
火災訓練	<p>平成28年9月20日（火） 施設利用者 40人 職員14人 平成29年3月15日（水） 磯沼荘デイサービスセンター 職員13人 利用者19人 あかねの館 職員3人 利用者13人</p> <p>磯沼荘消防計画に基づき、2回実施しました。28年9月は磯沼荘厨房ローレンジ付近からの出火を想定し、消防署員立会のもと、消火訓練を実施しました。29年3月は地震発生により、厨房より出火を想定した訓練を実施しました。（自主訓練）</p>

③ 利用者の世帯状況（平成29年3月31日現在）

区分		独居	夫婦2人	家族同居	計
あずま事業所	男	0	0	11	11
	女	3	2	20	25
磯沼荘事業所	男	4	0	12	16
	女	7	2	28	37
計	男	4	0	23	27
	女	10	4	48	62
総計		14	4	71	89

④ 利用者の要介護度（平成29年3月31日現在）

区分		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
あずま事業所	男	0	1	3	3	2	3	0	12
	女	0	1	8	10	3	1	1	24
磯沼荘事業所	男	0	0	4	2	6	3	1	16
	女	3	4	13	9	3	4	1	37
計	男	0	1	7	5	8	6	1	28
	女	3	5	21	19	6	5	2	61
総計		3	6	28	24	14	11	3	89

⑤ 利用者の年齢階層（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分		69 歳 以下	70 歳 ～74 歳	75 歳 ～79 歳	80 歳 ～84 歳	85 歳 ～89 歳	90 歳 以上	計
あ ず ま 事 業 所	男	2	1	1	1	5	2	12
	女	1	0	1	3	10	9	24
磯 沼 荘 事 業 所	男	1	1	2	0	7	5	16
	女	1	2	0	4	15	15	37
計	男	3	2	3	1	12	7	28
	女	2	2	1	7	25	24	61
総 計		5	4	4	8	37	31	89

⑥通所介護事業実績

	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1 日平均利用		
				送迎	機械入浴	一般入浴
あ ず ま 事 業 所	298 日	448 人	5,021 人	16.8 人	6.1 人	10.2 人
磯 沼 荘 事 業 所	298 日	488 人	5,620 人	18.7 人	7.1 人	10.9 人
計	596 日	936 人	10,641 人	35.5 人	13.2 人	21.1 人

⑦介護予防通所介護事業実績

	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1 日平均利用		
				送迎	機械入浴	一般入浴
あ ず ま 事 業 所	66 日	18 人	76 人	1.2 人	0.0 人	1.2 人
磯 沼 荘 事 業 所	236 日	69 人	618 人	2.6 人	0.0 人	2.6 人
計	302 日	87 人	694 人	3.8 人	0.0 人	3.8 人

⑧介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス（介護予防通所介護相当）実績

	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1 日平均利用		
				送迎	機械入浴	一般入浴
あ ず ま 事 業 所	74 日	13 人	74 人	1.0 人	0.0 人	1.0 人
磯 沼 荘 事 業 所	189 日	42 人	302 人	1.6 人	0.0 人	1.6 人
計	263 日	55 人	376 人	2.6 人	0.0 人	2.6 人

2. 障害者福祉サービス事業所の実施

(1) 障害者総合支援事業

障害者総合支援法に基づき、支給決定（または認定）を受けた障害者（児）に対し、居宅において、入浴、排泄、食事等の身体介護や、調理、洗濯、掃除等の家事支援並びに生活等に関する相談助言、その他の生活全般にわたる援助を行うものであり、伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の障害の区分（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	身体	重度	知的	精神	児童	計
男	6	1	3	11	0	21
女	6	0	2	18	0	26
計	12	1	5	29	0	47

② 利用者の年齢階層(障害者)（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	18 歳～29 歳	30 歳～49 歳	50 歳～64 歳	65 歳 以上	計
男	0	6	13	2	21
女	1	15	8	2	26
計	1	21	21	4	47

③ 障害福祉サービス提供実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
5,751 回	6,631.5 時間	577 人

(2) 地域生活支援事業

① 移動支援サービス

屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立した生活及び社会参加を促すことを目的とする事業で、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出時の移動を支援しました。

○移動支援サービス提供実績

延訪問回数	延訪問時間	延利用者数
367 回	375.0 時間	105 人

② 訪問入浴サービス

居宅での入浴が困難な障害者等に、身体の清潔の保持のため、介護保険による訪問入浴と同様のサービスを提供しました。

○訪問入浴サービス提供実績

延訪問回数	延利用者数
486 回	59 人

3. 地域包括ケアシステムの推進

(1) 地区担当職員の設置

各地区において構築される地域包括ケアシステムに積極的に参画するため地区ごとに地区担当職員を設置し、地域支え合いの体制づくりのためのフォーラム・勉強会・意見交換会等や地域包括ケアネットワーク会議及び事前打合せ等に担当職員が参加しました。また、地区担当職員連絡会議、リーダー会議を開催し情報共有を行いました。

○地域包括ケアネットワーク会議への参加状況

圏 域	期 日
北・三郷	平成28年9月17日(土)、平成29年3月18日(土)
南・茂呂	平成28年10月1日(土)、平成29年2月22日(水)
殖蓮	平成28年10月1日(土)、平成29年2月4日(土)
宮郷(連取元町)	平成29年2月20日(月)
名和	平成28年11月12日(土)、平成29年3月4日(土)
豊受	平成28年11月19日(土)
赤堀	平成28年10月20日(木)
東	平成28年10月29日(土)
境	平成28年10月8日(土)、平成29年3月11日(土)

(2) 生活支援体制整備事業への協力

伊勢崎市と社会福祉協議会で構成される「いせさき地域支え合い創出プロジェクト」を設置し協議体設置に向けた勉強会等を共催し、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

①地域支え合い勉強会

日時：平成28年6月28日(火)

場所：伊勢崎市緋の郷 市民交流館 第6市民活動室

内容：地域支えあい勉強会 ～めざす地域像について～

講話 公益財団法人さわやか福祉財団 長瀬 純治 氏

②地域支え合いフォーラム ～みんながふれ合え・つながりのある地域を目指して～

日時：平成28年9月29日(木)

場所：伊勢崎市民プラザ ホール

内容：○基調講演「今・あたたかい安心のまちをつくるとき」

・講師 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力 氏

○パネルディスカッション「自分も幸せになれる支えあいを広めよう

～今、わたしたちができること～

・パネリスト 齋藤 元 氏（玉村町第1層生活支援コーディネーター、民生委員）

目崎 智恵子 氏（高崎市第1層生活支援コーディネーター）

小倉 良枝 氏（伊勢崎ボランティア協会三郷支部長）

・コーディネーター 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力 氏

③ 地域支え合いの体制づくり懇談会「みんながふれ合え、つながりのある地域を目指して」

期 日	会 場	対 象
10月19日（水）	南公民館	南地区、茂呂地区の人
10月20日（木）	豊受公民館	豊受地区の人
10月21日（金）	名和公民館	名和地区の人
10月24日（月）	三郷公民館	北地区、三郷地区の人
10月25日（火）	宮郷公民館	宮郷地区の人
10月27日（木）	あずま公民館	東地区の人
10月28日（金）	赤堀公民館	赤堀地区の人
10月28日（金）	殖蓮公民館	殖蓮地区の人
10月31日（月）	境公民館	境地区の人

④ 地域支え合い体制づくり勉強会・意見交換会等

・11月18日（金）殖蓮・赤堀・東、28日（月）南・茂呂・豊受・境

・12月6日（火）南、10日（土）豊受、13日（火）殖蓮、16日（金）茂呂・境

・1月26日（木）赤堀・東・境、27日（金）殖蓮・茂呂、30日（月）南・豊受・境

・2月9日（木）殖蓮・豊受・境、11日（土）南・赤堀・東、25日（土）南・赤堀・東

・3月11日（土）南・茂呂・赤堀・東

⑤ 第2層協議体発足

・殖蓮圏域・豊受圏域・境圏域（平成29年2月9日）

・南地区・茂呂地区・赤堀圏域・東圏域（平成29年3月11日）

⑥ 第2層協議体

・境地区 平成29年2月28日（火）

・殖蓮地区 平成29年3月17日（金）

4. その他

(1) 研修支援事業（資格取得のための実習生受け入れ）

介護支援専門員実務研修受講試験の合格者や介護職等の資格を取得するために必要な実習の受け入れを行い、介護事業に必要なマンパワーを育成することに寄与しました。

また、教員免許取得希望者に対する社会福祉施設等における介護等体験を受け入れました。

① 介護支援専門員実務研修実習

	依頼者	実人数	実日数	延時間
伊勢崎事業所	群馬県社会福祉協議会	2	6	42
あずま事業所	群馬県社会福祉協議会	2	6	42
磯沼荘事業所	群馬県社会福祉協議会	2	6	42
合 計		6	18	126

② 介護実習同行訪問

	依頼者	実人数	実日数	延時間
伊勢崎事業所	前橋医療福祉専門学校	2	3	24
	群馬社会福祉専門学校	1	1	8

③ デイサービス実習（通所介護施設現場実習）

	依頼者	実人数	実日数	延時間
あずま事業所	足利短期大学付属高校	1	3	18

④ 教員免許取得希望者に対する介護等体験（通所介護）

	依頼者	実人数	実日数	延時間
あずま事業所	群馬県社会福祉協議会	1	5	38.75
磯沼荘事業所	群馬県社会福祉協議会	1	5	30.00
合 計		2	10	68.75

(2) 基準緩和訪問型サービス従事者研修会への参加

平成28年10月31日（月）、11月1日（火）市主催の研修会に2人参加

(3) 介護予防フェスタ2016への参加

平成28年11月6日（日）「お年寄りになった自分を体験しよう!!」出展

(4) 市民ボランティアフェスティバルへの参加

平成29年2月5日（日）市民ボランティアフェスティバルの社協ブースで展示

□施設管理課

1. 指定管理施設の管理運営

(1) ふくしプラザ

高齢者及び障害者の健康の増進及び生涯学習の振興を図るとともに、社会参加を促進するため各種事業を実施しました。

I 年間入館者数

(単位：人)

使用場所	浴室・交流室、 トレーニングルーム		会議室、 セミナールーム	多目的ホール	ワークショ ップその他	合 計
	無料 (うち障害者)	有料				
利用者数	49,714 (746)	471	30,062	14,070	69,042	163,359

- ・年間開館日数 291日
- ・開館時間 午前9時～午後10時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
第26回健やか学級	午前9時30分～11時30分 5月9日～3月13日までの実施 実施回数20回、参加者延べ589人 文化財探訪・暮らしの中の法律等各教室講座や運動の実施、また、野外活動などの生きがい、健康、仲間づくりの連続講座を実施しました。	生涯学習活動等のきっかけづくりの場を提供し、参加者は学級終了後もグループ活動を継続していくこととなりました。
レクリエーション 軽スポーツ教室	第1～第4木曜日 午後1時30分～午後3時30分 4月7日～3月23日までの実施 実施回数40回、参加者延べ1,295人 軽スポーツを通じて親睦、交流を図り仲間づくりと併せ、心と体の健康維持を図りました。	地域高齢者へふくしプラザ利用を啓発する良いアピールとなりました。

高齢者悩みごと相談	毎週木曜日 午前10時00分～午後3時00分 (正午～午後1時の休憩時間は除く) 4月7日～3月30日までの実施 相談日数47日、相談件数88件 専門相談員3人により、高齢者悩みごと相談を実施しました。	高齢者には、特有の悩み事や不安と言った精神的な問題を抱えている人も多い。高齢社会を心豊かに過ごすための支援を目的に設置し、利用者に好評でした。
ふれあいサークル	毎週金曜日(第5週休み) 午後1時30分～午後3時30分 4月8日～3月24日までの実施 実施回数37回、参加者延べ311人 障害を持った参加者と家族を対象にマット体操やレクリエーションを実施しました。	病気やケガ、老化により家庭に閉じこもりがちになる状態等を、家族と一緒にレクリエーション等の交流で社会参加への動機付けを行ない、利用者には好評でした。
健康相談	毎月第2・第4木曜日 午後1時30分～午後2時30分 4月13日～3月23日までの実施 実施回数22回、参加者延べ367人 医師(年6回)・栄養士(11回)・保健師・看護師により 定期健康相談等を実施しました。	医師・保健師等により、健康相談及び血圧測定を実施。高齢者や障害者の健康増進に努めました。
生き生きセミナー	毎週水曜日 午前10時00分～正午 4月13日～3月8日までの実施 実施回数35回、参加者延べ571人 レクリエーション、軽スポーツ、体験型学習活動を実施しました。	脳卒中中等後遺症を持つ障害者や家族を対象に、講師による講座などにより生きがい作りの場を提供しました。
趣味の時間 「やまぶき」	毎月第1～第4水曜日 午後1時00分～午後3時00分 4月6日～3月22日までの実施 実施回数42回、参加者延べ828人 俳句・絵手紙・書道を実施しました。	俳句や絵手紙、書道などの趣味の仲間が集まり、脳卒中中等後遺症を持つ障害者を対象に障害者の自主的な趣味の活動の場を設け、利用者は皆積極的に活動しました。
リハビリ事業 (訓練室開放)	毎週月曜日・水曜日・金曜日 午後1時00分～午後4時00分 4月4日～3月31日までの実施 127回実施、参加者延べ542人 看護師によるリハビリ指導を実施しました。	病気やケガ、老化が原因の身体機能低下等により家庭に閉じこもりがちの方と家族を対象に、社会参加の促進と機能訓練の充実を図りました。

第24回 ふくしプラザフェスティバル	9月8日(土)～9月12日(月) 高齢者・障害者(児)、ボランティア等参加者延べ6,183人。スポーツ大会(スマイルボウリング大会)サークル作品展・人情芝居・舞踊ショー・無料鍼灸マッサージ他を実施しました。	敬老の日を中心に高齢者・障害者の日頃の活動成果を広く市民に紹介。地域福祉の理解を深め高齢者の軽スポーツをはじめ障害者活動を支援し心身の健康維持を図りました。
第19回 はーとふるフェスティバル	12月3日(土)・4日(日) 高齢者・障害者(児)、ボランティア等参加延べ5,396人。障害者(児)作品展、障害者(児)団体活動紹介、即売会、はーとふるコンサート、チャリティーバザー他を実施しました。	障害者週間の趣旨にもとづき「一緒に考え一緒に築こう、伊勢崎の福祉」をテーマに障害者(児)の社会参加の促進と市民福祉の向上に努めました。
第13回 ふくしプラザ芸能発表会	3月5日(日) 高齢者・障害者(児)、ボランティア等参加者延べ2,615人。カラオケ、フォークダンスやフラダンス、詩吟、各種演奏等発表会を実施しました。	高齢者・障害者(児)等ふくしプラザ利用者や利用サークルが日頃の活動成果を発表するとともに、利用者相互の交流が深められました。
高齢者健康講座 (社交ダンス)	前期講座5月16日～8月8日 午後1時30分～午後3時30分 実施回数12回参加者延べ474人、 後期講座10月24日～2月20日 午後1時30分～午後3時30分 実施回数12回参加者延べ447人、 合計参加者延べ921人 体力維持と健康増進を目的に社交ダンスを実施しました。	高齢者の健康増進並びに仲間づくりの場となりました。
消防総合訓練の実施	7月28日(木)参加者47人 1月27日(金)参加者29人 入館者と職員による消防総合訓練を消防署員指導により実施しました。	緊急事態に対応するための通報・避難・消火等総合的な訓練を行うことにより実践体験ができました。

○実習生の受け入れ

伊勢崎敬愛看護学院

1月23日(月)～3月3日(金) 23日間

実習受け入れ実数41人

(2) ふれあいセンター

高齢者の心身の健康の保持を図るとともに、市民の憩いの場を提供し、世代間の交流を促進するため、指定管理者制度によるふれあいセンターの管理・経営を行いました。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
計	65,829	2,093	28	67,950	960	2	962	68,912

- ・年間開所日数 292日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
七夕まつり	・7月16日(土)、17日(日) 本館(玄関前) 別館(玄関前) 七夕まつりを実施しました。	職員や利用者に折鶴や短冊、風船等を作成していただき、盛大な飾り付けができ利用者に喜ばれました。
地域社会貢献としての障害者施設の物品販売	・5月20日(金)、7月21日(木)、 9月29日(木)、2月16日(木) 午後0時00分～0時30分 知的障害者通所授産施設 「とも伊勢崎」による物品販売 ・6月15日(水) 午前10時～午後0時 天啓園による物品販売	社会福祉協議会としても社会貢献できたうえ、利用者にも大変に喜ばれました。施設との信頼関係を築くことができ、地域福祉の繋がりができました。
心配ごと出張相談	・月の最終月曜日 午後1時～4時 「心配ごと相談」を実施しました。	来客者のなかで心配を抱えた方が相談していました。 出先で気軽に相談できたので良かった、と大変好評でした。
ふれあいミニ図書コーナー	・本館談話コーナーに書棚を設置し、利用者が気軽に読書を楽しめるようにしました。	様々な種類の本があることで、多くの利用者に利用していただくことができました。職員からも自宅にある本を提供していただき、本の書類を増やすことができました。

ふれあいミニフィットネスコーナー	・利用者が自宅で使用していない健康器具を寄付していただき、運動に接する機会を多くするようにしました。	高齢者が、無理をせず運動に接することができ、健康意識を高めることができました。
消防総合訓練の実施	・11月21日(月)参加者8人 2月15日(水)参加者8人 職員による総合訓練を消防署員指導により実施しました。	緊急事態に対応するための通報・避難・消火等総合的な訓練を行うことにより実践体験ができました。

(3) 老人いこいの家

地域における高齢者を対象に、入浴をはじめ、教養の向上を図り、レクリエーション等の場を提供することで、地域の関係団体の活動支援や、高齢者の心身の健康の保持・増進を図りました。

I 年間入館者数

	入館者数(人)	備考
計	12,764	

- ・年間開所日数 297日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 利用状況

地域の様々な支援団体が活動を行いました。

団体名	事業名	利用日・参加者数
赤堀福祉ボランティアの会	ゆうあい昼食会	10月19日(月) 参加者61人
赤堀地区社会福祉協議会	戸外サービス	3月6日(月) 参加者66人
赤堀福祉ボランティアの会	ボランティアの集い	1月25日(月) 参加者96人
社会福祉協議会赤堀支所	介護予防及び防災教室	2月14日(日) 参加者87人

- ・グラウンド使用状況
使用日 79日
延べ参加者数342人
- ・消防総合訓練(利用者と職員合同で実施しました。)
実施日 6月23日(木) 参加者数 18人
12月8日(木) 参加者数 15人

(4) みやまセンター

みやまセンターは、地域に密着した老人福祉とデイサービスを提供する複合施設です。老人福祉施設では、男女入浴をはじめ大会議室・教養娯楽室・相談室を有し、カラオケ設備も整っており、入館者には湯茶等の提供で仲間とのふれあいやレクリエーション等により高齢者の方々に明るく健康な日々を過ごしていただく「生きがづくり」の施設です。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			合計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
計	54,633	867	58	55,558	413	0	413	55,971

- ・年間開所日数 292日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
さつき展	5月30日(月)～6月4日(土) 地元さつき愛好会によるさつき展を開催。樹齢数十年のさつき21鉢及び山野草等14鉢を6日間展示	入館者やデイサービス利用者が花の美しさを観賞し、同好会の方々ともふれあい、安らぎの時間を共有できました。
入館者感謝祭	10月22日(土) 入館者への日ごろの感謝とこれからの入館者の増加を目的に開催 (当日入館者数273人)	劇団「未来」出演による笑いと涙の人情芝居と華の舞踊ショーにより、入館者に楽しんでいただきました。
カラオケ発表会	11月19日(土) 参加者48人(抽選) 日頃の練習の成果を発表する目的で開催(当日入館者数255人)	順位をつけない方法により誰でも気軽に参加でき好評でした。また施設の利用促進にもつながりました。
消防訓練	・1回目 9月26日(月) ・2回目 3月10日(金) 入館者・デイサービス利用者・職員による総合訓練を消防署員指導により実施	緊急事態に対応するための通報・避難・消火等総合的な訓練を行うことにより実践体験ができました。 また、2回目は消防職員指導のもと、消火行動、通報、救護及び水消火器訓練を実施しました。

初湯祭り	1月5日(木) 新年を迎えての利用者サービスとして先着200人に抹茶・和菓子のプレゼントと劇団による人情芝居と舞踊ショー (当日入館者数274人)	正式なお茶の作法によるお茶会で、季節感を感じる行事となりました。また、劇団「未来」出演による笑いと涙の人情芝居と華の舞踊ショーで入館者の増加にもつながりました。
アンケート箱の設置	入館者に意見や要望等を徴集	入館者からの投書内容を把握し、実現可能な事項から順次実施し、入館者の希望・要望に反映しました。

(5) 高齢者生きがいセンター

高齢者生きがいセンターは、各福祉団体の活動の拠点となっています。

高齢化社会を迎えた現在、介護予防として高齢者団体・民生委員・ボランティア等各種団体と連携するサロンづくりや地域ネットワーク作りをしています。

特に介護予防のための高齢者のクラブ活動の推進や子育てサロンを通じて未来を担う子供たちの健全育成の場として、最大限に活用している施設です。

I 年間利用者数

利用回数	利用者数
200回	4,104人

- ・年間開所日数 292日
- ・開所時間 午前9時～午後9時

II 行事实施状況

生きがいセンターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。

- ・高齢者いきいき講座事業
- ・ボランティア活動事業(養成講座、ボランティアの会、傾聴ボランティアほか)
- ・子育てサロン事業
- ・心配ごと相談事業
- ・地区社会福祉協議会事業
- ・民生委員活動に関する事業
- ・老人クラブ連合会事業
- ・その他 各福祉団体の総会、役員会、会議など

○消防訓練：9月26日(月)・3月10日(金) 消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

(6) 境地域福祉センター

高齢者及び身体障害者等に対するサービスの提供、各種福祉団体の育成及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図るための各種事業を境支所と協力して実施しました。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	利用団体数	利用人員	開所日数	夜間 開所日数	夜間 利用団体数	夜間 利用者数
合計	602	14,300	321	0	0	0

- ・開所日数 321日
- ・開所時間 午前9時～午後9時

II 事業実施状況

事業名	事業内容	事業効果
トレーニングルームの開放と大型レクリエーション用具の貸出	通年設置されたトレーニング器具の利用促進と使用方法の説明・指導。大型レクリエーション用具の貸出管理。	利用者の健康維持・増進に効果がありました。また、利用者同士の交流が深められ、仲間作りの場にもなっています。

○消防訓練：3月15日（水）消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

(7) 境社会福祉センター

市民の福祉増進と文化の向上を図るため、主に高齢者を対象としたカラオケ設備の整った共同入浴施設です。

年度事業では、菖蒲湯、柚子湯、ハーブ湯、カラオケ大会、作品展示会を企画し、年間を通じ玄関先を花で飾るなど季節感を取り入れ、更に衛生面に気を配り、清潔で利用者が気持ちよく利用できるよう心がけました。また、隣接している障害者授産施設の製品の即売会場として、ロビーを提供しました。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			合計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
計	29,687	622	3	30,312	509	1	510	30,822

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 午前9時～午後4時

II 行事状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
出張心配ごと相談	相談員による心配ごと相談	気楽に寄って相談できる場所として利用されました。
鯉のぼり設置	4月21日～5月6日	館内ロビーの壁沿いに、端午の節句にちなんで、緋鯉、真鯉を飾り、来館者に活力を与えられました。
菖蒲湯 柚子湯	菖蒲湯：5月26・27日 柚子湯：12月22日	季節感を取り入れ、利用者の無病息災と爽快感を与えられました。
カラオケ発表会	カラオケ発表大会 8月20日 参加者57人 3月10日 参加者52人	施設利用者による日頃の練習成果を披露いただき、利用者が楽しめる施設として入館者の利用増加に繋がっています。
利用者の作品展示会	センター利用者が作成した作品を、廊下等の壁を利用して展示。 写真展 通年 骨董品展 通年 折り紙展 通年	趣味を生かした作品の展示が出来、来館者に楽しんでもらいました。
七夕飾り	利用者の書いた短冊や利用者が持ち寄ってくれた七夕飾りを、舞台と玄関に飾りました。 7月3日～7月8日	短冊に利用者の思いを込めた願いを書いてもらい、七夕の雰囲気味わってもらい、利用者の触れあいと併せて利用促進を図りました。
グランドゴルフ大会	利用者の「いきいき・ふれあい・生きがい」を求め、長寿と健康の増進を目的に開催しました。 10月7日 参加人数 19人	芝生広場にだれでも気軽に参加し易いコースを設定し、和気あいあいの内に熱戦をくりひろげられました。
クリスマス飾り	舞台にクリスマスツリー等設置 12月1日～25日	舞台が普段より一段と華やかになり、カラオケを楽しむ利用者、スターになった気持で大変喜ばれ、センターの利用増進につながりました。

初湯まつり	新年仕事初めの行事として実施 1月5日	新年仕事初め、初湯に合わせて来館者に抹茶のサービス等行い大変好評でした。
正月飾り	舞台に正月らしい飾り付けを設置しました。 1月5日～15日	正月らしい舞台転換を行い、利用者に好評を得て利用増進につながりました。
雛飾り	ケース入りの三段飾りを、ロビーに展示しました。 2月23日～3月3日	女の子の健やかな成長を願い、来館者に桃の節句の雰囲気を楽しんでいただきました。
玄関を花で飾る	センター利用者及び事務所職員により四季折々の花を玄関先に飾った。	来館する誰もが、花に心を引かれる姿が見られたとともに、環境美化を図りました。

○消防訓練：2月10日（金）消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

（8）児童センター

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにするため、児童センターの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

（単位：人）

利用者別	幼児	小学生		中学生	高校生	大人	合計
		1～3年	3～6年				
計	19,552	6,629	5,007	1,349	422	19,277	52,236

・年間開所日数 293日

・開所時間 午前9時30分～午後6時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
お花植え	4月2日（土） 12人 花壇に花の苗を植えました	自分で植えた花を嬉しそうに探している姿が見られました。
ビーズ工作	4月10日（日） 15人 10月1日（土） 15人 ビーズ工作を行いました	ビーズを使った飾りや、アクセサリリーを作りました。各々オリジナルに溢れる作品が出来ました。

ミニスポーツ	4月3日(日) 12人 5月14日(土) 5人 8月14日(日) 9人 1月21日(土) 15人 3月12日(日) 13人 ターゲットプレイ、なわとび、ボール遊びなどをしました	ターゲットプレイ、なわとび、ボール遊びなど異学年の参加者とも楽しくできました。
人形劇	4月16日(土) 41人 1月14日(土) 17人 職員による手作り人形劇を上演しました	「てぶくろを買いに」を上演しました。幼児から小学生、保護者まで楽しく観覧できる作品でした。
焼きまんじゅう	4月17日(日) 100人 11月20日(日) 100人 参加者が炭火でまんじゅうを焼いて試食しました	子どもたちがまんじゅうに串を刺し、炭火で焼く体験をしました。 常連さんも多く、参加者からは「楽しかった」や「おいしかった」などの感想が聞かれました。
こいのぼり工作	4月23日(土) 17人 4月24日(日) 15人 こいのぼりを作りました	折り紙をちぎって貼る簡単な作業で、幼児も工作でき、高学年はこだわって作成できたので幼児から高学年まで楽しめました。
母の日のプレゼント作り	4月30日(土) 14人 5月1日(日) 17人 メモ帳を作りました	書いて消せるメモ帳を作りました。とても楽しそうに心をこめて作っている様子が見られました。
羊毛工作	5月8日(日) 13人 11月19日(土) 10人 羊毛を使ったアクセサリーや小物を作りました	羊毛を使ったアクセサリーを作りました。大事そうに持って帰る子がいました。
陶芸教室	5月15日(日) 10人 6月5日(日) 10人 講師指導により、粘土の成形をしました	参加者が、皿やマグカップなど好きな作品を決めてから成形を行いました。難しい部分は、講師に指導を受けながら完成することができました。
グラウンドゴルフ大会	5月22日(日) 11人 部門別にわかれての大会	2部門に分かれ行いました。最後まで楽しむことが出来ました。
バルーンアート	5月28日(土) 17人 11月26日(土) 6人 専用の風船を使い、イヌなどを作りました	親子で楽しく作ることができました。 最初は怖がっていた子も作れるようになりました。

棒焼きパン	5月29日(日) 97人 10月9日(日) 100人 竹にパン生地を巻き、炭火で焼いて試食しました	参加者がパン生地を炭火で焼くため、焼けていく過程を見ることができました。今回より、衛生面を考えジャムを個包装のものに変え、大きい紙コップに入れて食べられるようにしました。食べやすいと好評でした。
父の日のプレゼント作り	6月11日(土) 16人 6月12日(日) 15人 フォトフレームとメッセージカードを作りました	手作りのフォトフレームを作りました。また、父親への感謝の気持ちをメッセージカードにこめました。
影絵	6月18日(土) 45人 9月18日(日) 63人 3月25日(土) 20人 職員手作りの影絵を上演しました	6月は「あかずきん」、9月と3月は「おやゆびひめ」のお話を上演しました。 そのほか、歌の影絵も上演し大変好評でした。
メダカすくい	6月19日(日) 67人 メダカすくいをしました	家族や友達とメダカすくいを楽しむことができました。多くの子どもたちが参加し、大変好評でした。
七夕工作	6月24日(土) 9人 6月25日(日) 13人 短冊と飾り付けをしました	多年齢の子が参加し、楽しく飾りを作っていました。
焼きとうもろこし	7月3日(日) 88人 炭火で焼いて試食しました	参加者がとうもろこしの皮むきから炭火で焼くところまで行いました。焼き上がりを楽しみにしていました。
しゃぼん玉遊び	7月16日(日) 35人 7月17日(日) 21人 9月24日(土) 60人 9月25日(日) 70人 しゃぼん玉液を作り、遊びました	参加者がのりや洗剤などを使用した、しゃぼん玉液を作りました。作った後は、みんなで遊びました。
的当て	7月23日(土) 6人 11月12日(土) 17人 チーム戦を行いました	好きな絵柄の的目掛けて投げる姿が印象的で、参加者にとっても好評でした。
紙粘土工作	7月24日(日) 14人 2月12日(日) 16人 小物やペンダントを作りました	カラー粘土を使いペンダントを作り、男女ともに好評でした。

レクリエーション	7月30日(土) 5人 8月20日(土) 7人 12月25日(日) 25人 椅子とりゲームやへびじゃんけん、 ビンゴなどをしました	幼児から参加でき、保護者も一緒に遊ぶことができました。
ふくし体験	8月3日(水) 10人 手話教室、車いす体験、ブラインド ウォークをしました	車いすの広げ方、たたみ方、押し方、簡単な手話などを学びました。学校で学習している参加者も多くいて、スムーズに使用することができました。
ブーメラン作り	8月6日(土) 10人 8月7日(日) 10人 ブーメラン作りをしました	牛乳パックで作る手作りのブーメランで楽しく作って遊べました。
プラバン作り	8月21日(日) 16人 3月19日(日) 15人 プラバンを使った工作をしました	オリジナルのプラバンキーホルダーが作成出来て、満足そうに持って帰っていました。
マンカラ大会	8月28日(日) 17人 2月19日(日) 14人 部門別にわかれての大会	児童センターで人気がある遊びの大会には、多くの申込があり大変盛り上がりました。
敬老の日プレゼント作り	9月10日(土) 13人 9月11日(日) 13人 メッセージカードを作りました	祖父母への感謝の気持ちをこめて、小物入れを作り、メッセージを書いていました。
体力測定	10月8日(土) 14人 平衡性、瞬発力、柔軟性などを測定 しました	各々真剣に取り組んでいる姿が見られました。
ハロウィン工作	10月22日(土) 17人 10月23日(日) 17人 ハロウィンの工作をしました	近年流行のハロウィンの飾りを作りました。かわいらしい作品を楽しそうに取り組んでいる姿が見られました。
マジックショーと腹話術	10月29日(日) 43人 マジシャンによる実演を観覧しました	マジシャンと会場の子どものたちの声の掛け合いや子どもが参加する場面もあり大変盛り上がりました。
輪投げ	10月30日(日) 15人 チームで対戦しました	チームメイトを応援して、異年齢の参加者とも交流を図れました。
クリスマス工作	12月10日(土) 16人 12月11日(日) 19人 クリスマスの工作をしました	季節に因んだ工作をしました。手作りの飾りを手に嬉しそうに持って帰っていました。

人形劇	11月6日(日) 69人 劇団員の火公演	「さるカニ合戦」「おかいもの できるかな?」などを上演しまし た。最後まで集中して観劇するこ とが出来ました。
人形劇	11月13日(日) 85人 職員、母親クラブ人形劇部公演	「わらすみまめ」などを上演しま した。幼児から小学生、保護者ま で楽しく観覧できる作品でした。
上毛かるた大会	11月27日(日) 12人 部門別にわかれての大会	学校や地域で取り組んでいると ころも多く、当日参加も多かった です。
もちつき体験	12月4日(日) 103人 もちつき体験後、試食しました	参加者はもちつきを見学後、もち つきを体験しました。初めて体験 する参加者も楽しく参加できま した。
お正月工作	12月17日(土) 15人 12月18日(日) 16人 干支の置物作りをしました	可愛らしい酉の置物を作りました。 各々個性のあるものが作成出 来ました。
お正月遊び	1月7日(土) 38人 1月8日(日) 42人 コマや双六などで遊びました	コマや羽根つきはとても人気があ り、家族や友達と大変盛り上が っていました。
凧作り	1月15日(日) 15人 ビニール凧を作りました	出来上がった凧を、参加者全員で 飛ばして遊ぶことができました。
輪投げ大会	1月22日(日) 10人 部門別にわかれての大会	低学年の参加が多く、的に当てる のが難しそうでしたが、大会は大 変盛り上がりました。
鬼のお面作り	1月28日(土) 11人 1月29日(日) 12人 鬼のお面を作りました	頭にかぶれるお面を作りました。 個性的な作品がたくさん出来ま した。
映画鑑賞会	2月5日(日) 69人 人気の映画を上映しました	家とは違う大画面での鑑賞だっ たので、見たことのある作品でも 真剣に見ている姿が見られました。
ひな祭り工作	2月25日(土) 9人 2月26日(日) 15人 おひな様の工作をしました	お雛様を作りました。可愛らしい 飾り付けで華やかなお雛様が 出来ました。
お手玉遊び	3月5日(日) 10人 お手玉を使って遊びました	歌に合わせて遊んだり、お手玉を 使って山崩しなどをしたり、とて も盛り上がりました。

なわとび大会	3月26日(日) 17人 部門別にわかれての大会	雨天の為科学館廊下で行いました。時間とびは2部門、二重とびは1部門で行いました。二重とびでは、150回を超す記録も出しました。
ドレミタイム	毎週金曜日 1,032人 幼児と保護者対象のリズム遊び、ふれあい遊びなどを実施しました	親子で楽しく体を動かすことが出来ました。また、参加者同士で交流を図ることが出来ました。
子育て支援	毎月第2水曜日 178人 (4・7・8月は除く) ベビーマッサージや幼児安全法講習会などを実施しました	ベビーマッサージは大変人気がありました。幼児安全法講習会では、日赤の講師からケガや誤飲等の対処法を学ぶことが出来ました。
読み聞かせ	毎月1回実施 259人 (8・10・1月は除く) ボランティア団体による読み聞かせ	読み聞かせボランティアによる読み聞かせをしました。パネルシアターやエプロンシアターもあり、楽しく観ることができました。
クラフトクラブ	7月10日(日) 9人 8月27日(土) 11人 9月4日(日) 15人 10月2日(日) 9人 3月4日(土) 8人 リサイクル工作などを行いました	幼児を中心に毎回たくさんの参加がありました。
伝承遊び	7月2日(土) 10人 8月13日(土) 1人 9月17日(土) 9人 12月24日(土) 9人 2月4日(土) 7人 3月18日(土) 14人 あやとりや折り紙などを行いました	あやとりや折り紙などを行いました。子どもだけではなく、保護者も一緒になって遊ぶことができました。
おもちゃの病院	偶数月第2土曜日 44件 いせさきもろおもちゃの病院によるおもちゃ修理	修理で直るおもちゃが多いため、何度も利用してくれる方も多かったです。
親子クラブ	毎週月曜日 28組 2歳以上の幼児と母親を対象に一年間活動を行いました	運動会、クリスマス会など季節の事業や遠足(まゆドーム、華蔵寺遊園地)などを通して、子どもの成長を感じました。

消防訓練の実施	5月30日(月) 51人 10月24日(月) 60人 入館者、職員による消防訓練を実施しました(5月は消防署職員立会いのもと実施しました)	緊急事態に対応するための通報・避難・消火等総合的な訓練を行うことにより、実践体験ができました。
---------	---	---

○実習生の受け入れ

- ・東京福祉大学社会福祉学部保育児童学科 4年 1人
平成28年10月6日～10月30日 13日間
- ・第一中学校チャレンジウィーク 2人
平成28年9月2日(金)

(9) 境児童センター

「子どもたち」やその子どもを育てる親、そして、親子を見守る地域を視野に入れ、児童に健全な遊びの場を提供し、豊かな心を育てる場所となり、児童福祉の推進の強化と子育て支援活動の充実・利用者の利便性の向上と地域拠点施設として適正な事業を図りました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別	幼児	小学生		中学生	高校生	大人	合計
		1～3年	4～6年				
計	4,849	2,771	2,451	780	113	5,264	16,228

- ・年間開所日数 293日
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
ぬりえ大会	3月26日(土)～4月7日(木) 春休みぬりえ大会 参加者：74人 7月20日(水)～8月1日(月) 夏休みぬりえ大会 参加者：78人	参加者は、入賞目指して丁寧に塗っていました。また、飾られた作品を友達や家族と一緒に見に来ていました。
観劇会	4月2日(土) 参加者：51人 劇団風の子による公演	プロのステージを間近で観ることができ、喜んでいました。
子どもの日スペシャル	5月5日(木) 参加者：17人 マイ下敷きを作りました。	記念に残るように、手形を押しした下敷きを作りました。

母の日プレゼント作り	5月8日(日) 参加者：14人 ブレスレットを作りました。	日頃の感謝の気持ちをこめて、丁寧につけていました。
わくわくクッキング	5月29日(日) 参加者：14人 アイス作り 11月26日(土) 参加者：14人 クッキー作り 2月5日(日) 参加者：13人 チョコランチ作り	各回とも作り方は簡単で、友達とグループになり楽しむ様子がみられました。
リサイクル工作	7月23日(土) 参加者：13人 9月10日(土) 参加者：21人 10月2日(日) 参加者：5人 廃材を使ったおもちゃを作りました。	トイレットペーパーの芯や、ペットボトル、牛乳パックを使って、小物入れや万華鏡などのおもちゃを作って遊ぶことができました。
集団遊び	4月9日(土) 参加者：20人 6月18日(土) 参加者：4人 7月17日(日) 参加者：7人 1月15日(日) 参加者：7人 集団遊びを行いました。	風船バレー、ヘビじゃんけん、ハンカチ落としなどをして遊びました。幼児から小学生までの子が、一緒になって遊び交流が深められました。
世代間交流会	9月3日(土) 参加者：7人 輪投げで遊びました。 1月28日(土) 参加者：13人 節分工作をしました。	境地区老人クラブとの交流会では、子どもと老人クラブの方が一緒になってゲームをし、交流を深めることができました。
父の日プレゼント作り	6月19日(日) 参加者：21人 プラ板ストラップを作りました。	日頃の感謝の気持ちを込めて、プラ板に絵を描いていました。
どうぶつ将棋大会 テーブルホッケー大会 マンカラ大会 紙飛行機飛ばし大会 スーパーバトル大会 わなげ大会 大声大会 豆つかみ大会 ジャンケン大会	5月21日(土) 参加者：9人 6月11日(土) 参加者：10人 7月16日(土) 参加者：6人 9月11日(日) 参加者：12人 10月18日(土) 参加者：8人 11月12日(土) 参加者：10人 1月7日(土) 参加者：8人 2月4日(土) 参加者：12人 3月18日(土) 参加者：11人	各大会には、幼児から中学生まで幅広い年齢の子ども達が参加しました。 異年齢児とも対戦することができ、交流を深めながら楽しく参加することができました。
ベビーマッサージ	6月2日(木) 参加者：5組 9月29日(木) 参加者：13組 1月26日(木) 参加者：13組 ベビーマッサージを行いました。	赤ちゃんとお母さんのスキンシップをとるとともに、お母さん同士の交流もできました。

流しそうめん	7月9日(土) 参加者：18人 流しそうめんをしました。	参加者は普段できないことに積極的に参加していました。
折り染めをしよう	5月22日(日) 参加者：23人 和紙を染め粉で綺麗な柄に染めて楽しめました。	出来上がりの色、模様をイメージしながら、きれいに染めることができました。
境児童センターまつり	11月5日(土)参加者：274人 センターまつり。	母親クラブ、境地区民生委員・児童委員、ボランティア(学生・一般)の協力を得て行いました。友達や地域の方々との交流を深める環境づくりができました。
クリスマス会	12月3日(土) 参加者：46人 クリスマス会。	一足早いクリスマス会には、多くの子ども達が参加しました。マジックショーを見た後は、サンタさんからプレゼントをもらい喜んでいました。
消防訓練	毎月1回避難訓練を実施 10月26日(水) 入館者・親子クラブ参加者・職員・消防署員による総合訓練を実施	総合訓練では、通報や非常ベルなど、火事を想定して実施しました。来館者も慌てることなく避難することができました。

○ 毎月・毎週行事内容

親子クラブ	毎週水曜日 午前10時30分～11時30分 親子で楽しめる活動を提供しています。定員：20組	1年間を通しての活動のため、子どもの成長を感じることができました。また、母親の交流の場ともなりました。
まめっこ広場	5月19日(木) 参加者：12組 手形をとろう 6月9日(木) 参加者：13組 ふれあい遊び 7月14日(木) 参加者：9組 水遊び 9月8日(木) 参加者：8組 おもちゃ作り 10月13日(木) 参加者：10組 まめっこ運動会 11月17日(木) 参加者：10組 リズム遊び	毎回、工夫をこらした遊びなどを行いました。子どもと保護者が一緒になって、楽しく過ごすことができました。複数回参加する親子もいて、参加者同士で交流する様子も見られました。

	1月19日(木)参加者:13組 ボール遊び 3月9日(木)参加者:15組 手形&写真 午前10時30分~11時30分	
おはなし会	おはなしの風 毎月第3土曜日 午前10時30分~ 参加者:74人 にじの会 毎月第3水曜日 午後1時30分~ 参加者:97人	おはなしの風は幼児から小学生、にじの会は幼児向けの読み聞かせを行いました。
児童家庭相談	毎月第4水曜日 午前10時~午後1時	市から専門の相談員が来館し、相談室を設けました。

(10) 赤堀児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援と「放課後児童クラブ」の管理運営を行っています。また、一般の人々を対象にした「わくわくサタデー」・工作教室などの文化体験事業や「赤堀地区児童館まつり」を行い、地域に根を下ろした児童館活動を実施しました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1~3年	4~6年				
計	2,753	24,728	1,022	269	60	5	3,734	32,571

- ・年間開所日数 295日
- ・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分~午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後~午後7時
(学校休業日については午前8時~午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
ベビーマッサージ 教室(3水曜日) 4月~3月(7・8 月・12は除く)	4月20日~年間9実施 延べ参加者:140人	乳児を対象にベビーマッサージを行い 親子のコミュニケーションを深めました。又参加した母親同士が親しくなるきっかけとなりました。

赤堀地区文化祭 参加	11月5日(土) 11月6日(日) 児童館紹介パネルと作品の展示。 参加者 人数のカウントできず	子育て支援事業や放課後児童クラブの子ども達の生活の様子をパネルと作品で紹介しました。
あそびの教室 毎月第2・4水曜日	5月11日～年間16回実施 「あつまれちびっこ」 他 延べ参加者：949人 (幼児と保護者)	子ども同士の友達作りや保護者同士の情報交換の場を提供することができました。また、季節の行事に応じた製作や遊びを通して親子共に楽しむことができました。
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月23日～年間12回実施 「アイロンビーズを作ろう」他 延べ参加者307人(一般)	幼児から大人までを対象に物作りをしたり、作ったものを食べたり、音楽を鑑賞したり、その他いろいろな体験をしながら、楽しい時間が過ごせました。
おはなしニコニコ 毎週金曜日	4月22日(金)～年間37回実施 サリーちゃん・パネルシアター・読み聞かせ他 延べ参加者：1,205人	乳幼児とその保護者を対象として親子で楽しめるものを提供し、日常的に児童館を利用するきっかけとなりました。
放課後児童クラブ行事 ・月1回誕生会 ・月1～2回の遊び ・季節毎の壁面作り	4月7日～年間39回実施 お花見ランチ・宝さがし遊び 延べ参加者：3,691人 季節の壁面作り 年間9回実施 延べ参加者：617人	放課後クラブのメンバーが、ゲームや工作、運動やなわとびなどして放課後を楽しく過ごすことができました。月1～2回の遊びに・工作週間は一般児童も参加して一緒に楽しむことができました。
読み聞かせ 毎月第2・4木曜日	4月14日～年間20回実施 絵本の読み聞かせ他 延べ参加者：240人	放課後15：30～小学生を対象にボランティアの方が読み聞かせ等をしてくださいました。子どもたちが本に親しむきっかけとなりました。
赤堀地区児童館まつり 年1回	10月30日(日) マジシャンによるマジックショーと子供の遊び 参加者：301人	赤堀地区の児童館3館と、友愛クラブ・民生委員他ボランティアの協力で、地域の人たちがたくさん参加し、楽しみました。

不審者対応訓練 年1回 総合避難訓練 年12回(内消防署 立会1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月23日(火) 不審者対応訓練 参加者:94人(児童・職員) ・毎月1回避難訓練(火災・地震) 延べ参加者700人 ・11月14日(月)消防立会総合避難 訓練 参加者:102人 	各種訓練を行うことにより、それぞれに応じた避難方法が職員・児童共に体験することができました。
--	--	--

(11) 赤堀南児童館

未就学児とその保護者が対象の子育て支援事業と小学校の児童が対象の放課後児童クラブ事業を行いました。また、学校や地域の人々と連携を図り、地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1~3年	4~6年				
計	2,701	18,934	261	319	10	0	3,093	25,318

・年間開所日数 294日

・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分～午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後～午後7時
(学校休業日については午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
あそびの教室 毎月第2・4火曜日	5月24日(火)～年間15回実施 はじめましての会他 延べ参加者649人	親子で触れ合いながら遊び方、 かかわり方を覚える、保護者同 士の情報交換や子育ての相談 に応じられました。
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月23日(土)～年間12回実施 プラ板作り他 延べ参加者228人	普段児童館に遊びに来られな い子供や大人にも児童館に関 心を持ってもらうことができ ました。
赤ちゃんいらっしや い! 毎月第1・3木曜日	4月21日(木)～年間19回実施 わらべ唄あそび、ベビーダンス他 延べ参加者384人	乳幼児とその保護者を対象に お話を聞き、わらべ唄やスキ ンシップを楽しみました。

放課後児童クラブ 行事 月1回 誕生会 月1~3回 遊び行事 あそびの月間	4月4日(木)~年間32回実施 はじめましての会他 延べ参加者2,439人 あそびの月間 10回 延べ参加者2,710人	放課後児童クラブの子ども達を対象にお誕生会や工作、伝承遊び等遊びの経験を通し児童クラブとしての集団力が身についてきましたまた、月間を通して頑張れることができました。
おはなしタイム 毎週土曜日	4月2日(土)~年間45回実施 なぞなぞ、紙芝居、絵本、他 延べ参加者591人	毎週土曜日に小学生を対象に読み聞かせをしました。だんだん集中しておはなしを楽しむことができました。
赤堀地区児童館 まつり 年1回	11月30日(日) 菅原 勝也の「マジックショー」 バルーンアート、皿回し他 参加者301人	赤堀地区児童館3館と老人会、民生委員他ボランティアの協力で、地域の人たちがたくさん参加し楽しみました。
赤堀地区文化祭参加	11月5日(土)11月6日(日) 児童館紹介パネルと作品の展示	子育て支援事業や放課後児童クラブの子どもたちの生活の様子をパネルと作品で紹介しました。
消防等避難訓練 年12回	4月20日(水)~年間12回実施 火災、地震、竜巻 11回 不審者からの避難 1回 延べ参加者456人	地域や学校と連携を取り協力体制づくりを進めながら、各種訓練を行いました。 災害に応じた避難方法を職員児童共に体験することができました。
将棋教室 毎週木曜日	4月14日(木)~年間26回実施 本将棋、はさみ将棋、まわり将棋等 延べ参加者435人	子ども達の落ち着いた時間や集中力が付くように、地域のボランティアの方に将棋の遊び方や指し方を指導していただきました。

(12) 赤堀あさひ児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援事業と「放課後児童クラブ」の管理運営事業を行なっています。また、一般の人々を対象にした遊びの紹介や工作教室などの文化体験事業、「赤堀地区児童館まつり」を行なうなど、地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	2,393	16,025	492	598	84	10	2,557	22,159

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分～午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後～午後7時
(学校休業日については午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
あそびの教室 毎月第1・3水曜日	4月27日(水)～年間11回 ベビーマッサージ 他 延べ参加者 433人	子ども同士の友達作りや保護者同士の情報交換の場を提供することができました。また、季節の行事に応じた製作や遊びを行い、親子ともに楽しむことができました。
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月16日(土)～年間11回 バルーンアート 他 延べ参加者 129人	幼児から大人までを対象とし、物作りや体を動かす等の体験をしながら、楽しい時間を過ごすことができました。
びこぴこルーム 毎週 月曜日	4月11日(月)～年間37回 手遊び・絵本・紙芝居の読み聞かせ 延べ参加者 537人	乳幼児とその保護者を対象として、読み聞かせ等を提供し、親子ともに楽しむことができました。
びこぴこたいそう 毎週 木曜日	4月14日(木)～年間36回 ふれあい遊びや体操 延べ参加者 912人	乳幼児とその保護者を対象として、ふれあい遊び等を提供し、親子で楽しくふれあう時間を作ることができました。
子育て支援 ぺったんてがた	4月15日(金)～年4回 延べ参加者 171人	成長の記念に台紙に手がた等を取り、参加者同士で交流もできました。
放課後児童クラブ行事 月1回 誕生会 年5回 サッカー 月2回 製作・あそび 他	4月11日(月)～年間42回 青空ランチ! 他 延べ参加者 2,444人	放課後クラブの児童等が、ゲームや工作、ボランティアによるサッカー指導、レクリエーションなどを通して、楽しく過ごすことができました。

放課後児童読み聞かせ（おはなしパーク） 毎月第2・4木曜日	4月14日（木）～年間18回 絵本の読み聞かせと紙芝居 延べ参加者 686人	小学生や館内の幼児を対象に 絵本や紙芝居などでお話に親 しむことができました。
赤堀地区児童館 まつり 年1回	10月30日（日） 菅原勝也のマジックショー、ゲーム他 参加者 301人	赤堀地区3児童館で、民生・児 童委員、東京福祉大学学生ボラ ンティアの協力により開催し、 たくさん子どもたちが参加 し楽しみました。
赤堀地区文化祭参加	11月5日（土）・6日（日） 児童館紹介パネルと作品の展示 参加者： 77人	児童館の子育て支援事業や放 課後児童クラブの子どもたち の生活の様子をパネルと作品 で紹介しました。
火災・地震・不審者 等避難訓練 年3回	5月9日（月） 地震避難訓練 地震ビデオ、避難訓練参加者79人 7月27日（水） 不審者侵入・防犯 訓練 参加者61人 11月22日（火） 消防避難訓練 参加者67人	各種訓練を行うことにより、そ れぞれに応じた避難方法を職 員・児童ともに体験することが できました。

(13) きく児童館

児童・生徒に健全な遊びの場を提供することにより、子供たちの健康を増進し、情操を豊かにする。また、子育て支援の拠点となる場を提供するとともに、放課後児童クラブの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	932	18,555	479	689	56	6	798	21,515

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分～午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後～午後7時
(学校休業日については午前8時～午後7時)

II 事業状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
あそびっ子 びゅんびゅんごま作り	4月25日（月） 音が出るごま作り。 参加者 23人	様々な工夫をすることで回転時の 色の変化やビュンと鳴る音の違い などを感じることができました。

子供の日 特別行事 アイロンビーズ	5月5日(木) アイロンを使い、ビーズを色々な模様や形に固める。 参加者 8人	色とりどりのビーズを型に並べて、思い描いた模様に仕上げていく。工夫することの楽しさや仕上げまでの苦労を通じて、完成の喜びを味わえました。
わいわいクラブ たこ焼き作り	5月14日(土) 様々な材料を使った、たこ焼き作り 参加者 15人	わいわい楽しくたこ焼きを作り、みんなで食べることで交流が深まりました。
きしゃぽっぽ スペシャル	5月23日(月) 藤巻千賀子先生を講師に、幼児と保護者を対象にしたリズム遊び 参加者 32人	いつもと違った動きや手遊び、リズム遊び、絵本の読み聞かせを通して親子の絆が深まりました。
まめっこクラブ 運動会	6月13日(月) 幼児と保護者を対象にしたミニ運動会 参加者 31人	競技内容は、ハイハイ競争・大玉ころがし・玉入れなど簡単な競技を親子で楽しみました。
児童クラブ行事 運動会	6月20日(月) 児童クラブの子ども達と職員による運動会 参加者 90人	猛獣狩り、せんべい食い競争、小麦粉マシュマロ等の競技を児童・職員みんなが参加し大いに盛り上がりました。運動会を通じてみんなの絆が深まりました。
わいわいクラブ 流しそうめん	7月23日(土) 様々な食材も一緒に流す流しそうめん 参加者 19人	桶に茹でたそうめんやきゅうり、みかん(缶詰)を流し、みんなでワイワイ・ガヤガヤ言いながら食べ、普段とは別の食べる楽しさを経験できました。
あそびっこ スライム作り	8月8日(月) 色つきのスライムを作って楽しく遊ぶ。 参加者 57人	洗濯のり・色水・ホウ砂液を混ぜて自分の好きな色のスライムをつくり、楽しく遊ぶことができました。
移動館カプラ	11月24日(木) 「ぐんまこどもの国」のスタッフの指導で、カプラを自由に積み上げ、様々な作品を作る。 参加者 83人	カプラを積んだ様々な作品を作り上げていくのは根気のいる作業ですが、子供たちは共同して作り上げ、作品を楽しんでいました。
クリスマス会	12月3日(土) ぐるぐるパラダイスによるお笑いショーとハンドベルの演奏	四季の神々のセレモニーやハンドベルでクリスマスソングを奏でた後、お笑いショーで大爆笑。クリ

	参加者 89人	スマスプレゼントも配られ、みんな大喜びでした。
バレンタインのチョコ作り	2月14日(土) 小学生を対象にしたチョコ作り 参加者 18人	スプーンにチョコを流し入れトッピングで飾りつける。手作りチョコを楽しみながら完成させ、互いに評価しながら食べくらべ、味わいました。
消防等避難訓練 年12回	4月11日(月)～年間12回実施 火災を想定した訓練6回(うち2回は消防署職員立会いのもと実施)、 地震を想定した訓練6回 延べ参加者633人	災害に応じた避難方法を職員児童共に体験することができました。

以上の行事の他に児童館行事として、毎週月曜日「おはなしきしゃぼんぼ」、毎週水曜日「お話の部屋」、また、児童クラブ行事として、「餅つき会」「豆まき大会」「なわとび記録会」「上毛カルタ大会」「おつかレー会」などを実施しました。

(14) さざんか児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、児童館の管理運営を行いました。放課後児童クラブ及び育児サークルの活動の支援を行いました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	1,344	18,887	406	301	97	12	1,725	22,772

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分～午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後～午後7時
(学校休業日については午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した主な行事内容は、次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
よもぎだんご作り	4月16日(土) よもぎだんごの作り方を学んだ。 参加者 28人	よもぎだんごができるまでの手順を知ることができました。また、きな粉やあんこをつけて、おいしく食べられました。

どろだんご週間 表彰式	4月18日(月) 4月27日(水) 4月18日から一週間どろだんご週間とし、表彰式を行った。 参加者 86人	通常の賞に加え、「頑張ったで賞」等の各種特別賞を設けて、更に多くの子どもたちのやる気を引き出すことができました。
楽しい運動会	6月18日(土) なわとび、ブルーシートくぐり他 参加者 30人	雨の多い梅雨期に屋内で運動会を行うことにより、屋内でも楽しく過ごせることを子どもたちにもわかってもらえました。
マンカラ大会	7月28日(木) マンカラのゲーム大会 参加者 81人	参加者を4チームに分け、トーナメント方式で勝ち進んでいきます。普段は対戦しない学年、異性と組んで行うことで向上心が育まれました。
流しそうめん	7月22日(金) 7月30日(土) 流しそうめん 参加者 138人	親子仲良く箸をつけていて、親子の交流、児童館と地域との交流が深く図られました。
水鉄砲大会	8月18日(木) 4チームに分かれ、トーナメント形式で競った。 参加者 61人	天気に恵まれた中、水鉄砲の打ち合いで走り回り、楽しそうでした。
おはなしゆりかご (実習生による)	9月15日(木) 関東短大実習生によるリトミック 参加者 26人	9月3日から16日までの間、短大生の実習生を受け入れ、実習生を主体におはなしゆりかごを行いました。
クリスマス会	12月3日(土) 育英短大によるヘルマンハーブの演奏と子ども達による四季の神々のともし火を行った。 参加者 100人	幼児から児童の保護者やおばあちゃんまで幅広い年齢層の方々に参加いただき楽しいひと時を過ごせました。
もちつき	1月10日(火) 杵と臼で餅をついた。 参加者 81人	こども達は本物の臼と杵で餅をつくことを体験し、市販の餅とは一味ちがう本物の味に感激していました。
あそびの検定 表彰式	2月1日(水)～3月2日(木) 3月3日(金) 一年間の集大成として検定をし、表彰を行った。	けん玉、まりつき、フラフープ、なわとび、あやとり等10種目も級認定を行い、子ども達に色々な事にチャレンジする意欲

	参加者 97人	と向上心を培いました。
ゆりかごスペシャル	3月9日(木) 通常のおはなしゆりかごに加え、こども国の移動児童館職員のパネルシアター等 参加者 42人	児童館の職員とこども国の職員とで事業を行うことにより、最終回のおはなしゆりかごとして、お母さん方、幼児共に盛り上がっていました。
一芸発表会	3月24日(金) あそび検定の練習の成果を発表した。 参加者 71人	こども達が児童館で過ごした一年間の締めくくりの事業で、一輪車、ベーゴマ、フラフープ、あやとり等得意とする遊びをみんなの前で発表し、人前で行うことの難しさや平日頃の努力の大切さを学びました。
消防等避難訓練 (火災・地震・防犯)	5月14日(土) 地震避難訓練 参加者79人 7月26日(火) 不審者避難訓練 参加者74人 8月4日(木) 火災避難訓練 参加者79人	地震や火災などの災害や不審者の侵入を想定した避難訓練を職員・児童合同で行い、災害や異常発生時に取るべき行動を再確認することができました。

以上の行事の他に「達人会」「けん玉道場」「プラバンホルダーづくり」「お店屋さんごっこ」「キッズエアロビ」「味噌づくり」「節句の豆まき」「羊毛ツンツン」などを実施しました。

(15) あやめ児童館

児童に健全な遊びの場を提供し、児童の健康を増進し情操を豊かにすることや、幼児を持つ母親たちの情報交流等の場としての充実を図るなど、子育て支援を実施し、また、放課後児童クラブの運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
計	1,563	12,093	889	1,401	145	16	1,684	17,791

- ・年間開所日数 294日
- ・開所時間 児童館開館時間・・・午前9時30分～午後6時
放課後児童クラブ開設時間・・・放課後～午後7時
(学校休業日については午前8時～午後7時)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した主な行事内容は次のとおりです。

事業名	事業内容	事業効果
焼きまんじゅうを作 って食べよう	4月23日(土) 炭火で、焼きまんじゅうを焼いてみんな で食べました。 参加者20人	火を使った行事として、火傷を しないように気をつけたり、ど のくらい焼いたら食べられるか などの学習と、参加者同士の交 流もでき、楽しい時間となりま した。
母の日のプレゼント	5月5日(木) 子どもの日特別行事ということで、講 師に多賀谷さんをお招きして、花かご のプレゼントを作りました。 参加者11人	白いかごに造花を入れ、母に向 けてのメッセージを書き、心の こもったプレゼントを作ること ができました。
キッズエアロビ	5月26日(木)2月9日(木) 講師に依頼し、曲に合わせてキッズエ アロビを楽しみました。 参加者71人(2日間)	児童館クラブ全員が参加し、み んなで曲に合わせて踊ることで リズム感を育て、楽しみながら 健康な体作りができました。
けん玉であそぼ	6月11日(土) 日本けん玉協会群馬県支部長飯塚千 砂さんを講師に招き、けん玉の持ち方 から始まり、技の習得と向上を目指し 認定も行いました。 参加者25人	けん玉に触れ、各自が技の向上 を目指し、根気よく練習するこ とができました。初めての子ども 認定証をもらい、かすかな自信 とこれからの意欲につながる行 事となりました。
ラベンダースティッ ク作り	6月30日(木) お母さんのための手芸講座として、リ ボンを使って、ラベンダースティックを 作りました。 参加者10人と(子供17人)	お花を使って、ラベンダーステ ィックが作れる事を知りまし た。初めて作る方が、ほとんど でしたが、参加者同士で楽しく 交流を持つことができました。
レストランSP七夕 のお話	7月7日(木) 七夕について話した後、「おり姫とひ こ星」のパネルシアターを上映し、み んなで、「たなばたさま」を唄い、七 夕の雰囲気を楽しみました。 参加者41人	昔から伝わる季節の行事を理解 し、親しむことができました。
ポケットSP藤巻さ ん親子リズム	7月12日(水) 講師に藤巻さんを招き、歌や手遊び、 体を使った親子でのスキンシップを 行いました。参加者52人	講師のキーボードに合わせて、 歌ったり、体を使ったスキンシ ップ遊びをしたりして、親子の コミュニケーションを楽しむこ とができました。

あやめ納涼祭	7月29日(金) 放課後クラブと一般の子供たちを対象とした、納涼祭を開催し、おぼけやしき、かき氷、ゲーム、工作、ヨーヨー、茶屋のコーナーを設け、お祭りをみんなで楽しみました。 参加者152人	今回一般の子供たちも対象としたため、想像以上の反響で、地域にニーズがあると実感しました。納涼祭の係を担った、クラブの子、中学ボランティアの子どもたちも、みんなで成し遂げる喜びと、達成感を味わうことができました。
中国語であそぼ	8月12日(金) 中国出身の講師に、簡単な中国語や中国文化を学びました。 参加者63人	世界地図で、中国の位置を確認したり言葉や文化に触れることができ、中国を身近に感じる良い機会となりました。
カレーパーティー	8月19日(金) 野菜の皮をむき、切ることで、料理を作る楽しみを学びました。 参加者56人	野菜の皮をむき、切り、調理する事により、自分達で作った達成感があり、より一層美味しくカレーが食べられたようです。
不審者訓練	8月24日(水) 伊勢崎警察のスクールサポーターの方の指導のもと、実施訓練や防犯ビデオを見たり、声掛け事案の実演をしました。 参加者42人	不審者が門から入ってきたことを想定し、職員2人が対応しました。部屋に避難した児童のその後の行動を確認した指導は、かなり緊張した中で訓練することができました。
大道芸	9月17日(土) 講師に前橋工科大学ジャグリング部 grip を招いて、大道芸の数々の演技を見て、同時に体験しました。 参加者16人	普段あまり見たり、触れたりすることのできない大道芸を見たり、体験させてもらったりして、貴重な体験をすることができました。また、学生とのコミュニケーションを図ることができました。
移動児童館カプラであそぼ	10月20日(木) ぐんまこどもの国移動児童館を呼んで、カプラ遊びを楽しみました。 参加者52人	個人で作品を作ったり、参加した仲間と一緒にカプラを高く積み重ねたりするなど、いろいろな楽しみ方などで貴重な体験ができました。
避難訓練(火災)	10月27日(木) 伊勢崎あずま消防署の指導のもと、火災時に適切な判断、行動ができるように訓練しました。 参加者 31人	子供たちの命を危険から守るため、毎月の避難訓練とプロとの指導内容を検証し、今後の訓練に活かすことができました。

パステル画を楽しもう	3月4日(土) 講師にグループ「はあーて」(代表石田真由美さん)を迎えパステルを描きました。 参加者22人	一枚の紙に向かい、自分の心の中のイメージを色に表し、形にするという作業を通して、心静かにじっくりと取り組む時間を持つことができました。
------------	---	---

以上の行事の他に「たこ焼きパーティー」「クリスマス会」「しめ縄作り」「みんなでワイワイ」などを実施しました。

2. いせさき絆コンサートの開催

地域で共に助け合い支え合う絆づくりを推進するため、高齢者入浴施設を活用したコンサートを開催し、市民の交流機会創出を図りました。

I 事業実施状況

施設名・開催日	実施状況・出演者
ふくしプラザ 毎月第1日曜日	9月4日 フレンド・フラ、萩の会 10月2日 すみれ会 11月6日 深町 昌巨 2月5日 いづみ会
ふれあいセンター 毎月第2日曜日	9月11日 エージレス名和、ナイスフラレディース、新舞踊 10月9日 森村 恭一郎 11月13日 楽団「石原家」 12月11日 ドレミの会、和会 2月12日 ジョイナス 3月12日 ロクレクラブ、琴秋会
境社会福祉センター 毎月第3日曜日	9月18日 童謡を歌う会「カナリヤ」、レクダンス愛 10月16日 手話ダンスYou&I、プア・ケニケニ 11月20日 境フラサークルハイビスカス 12月18日 境篠笛友の会、さくら会 1月15日 境ハーモニカクラブ 2月19日 うねめ民舞研、持木 三雄、栗原 孝次 3月19日 琴秋会
老人いこいの家 毎月第4日曜日	9月25日 心彰流剣舞剣彰会、アネラ クラス、ウクレレ アネラ クラス 10月23日 さくら貝、ハイビスカス赤堀 11月27日 倉林良光バンド 12月25日 プア・モキハナ

	1月22日 倉林 良光 2月26日 舞踊松葉会 3月26日 アロハレインボー
みやまセンター 毎月第1土曜日	9月 3日 あずまウクレレサークル、JAあずまフラクラブ 10月 1日 手話ダンスYou&I、東琴友会 12月 3日 フラナニ・ヌエヌエ、細井花笑 1月 7日 レクダンスみさと 2月 4日 レク・あずま、まんてん紙芝居の会 3月 4日 フラナニ・プエオネ

・開催回数 30回

・出演者数 40団体、個人6人

